

NEC

VALUESTAR

テレビを 楽しむ本

活用編

パソコンだから二歩進んだテレビの楽しみ方を

テレビをもっと活用する

付 録



このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

- ・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- ・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	--

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
---	---------------------------

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 参 照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
 ポイント	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】 で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
『 』	『 』 で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
 「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、デスクトップのタスク バーにある  (ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

◆利用方法

例) 検索番号が「91060010」の場合

(マニュアルの記載)

パソコンを最新の状態にするには

 参照 「パソコンを最新の状態にする方法」

▶  「ソフト&サポートナビゲーター」▶ 検索番号 91060010 で検索

① 検索番号(8桁の数字)を確認する



(「ソフト&サポートナビゲーター」の画面)



② 検索番号を入力する

③  をクリックする

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品によりモデル構成は異なります。詳しくは、添付の『はじめにお読みください』の「このマニュアルの表記について」-「◆このパソコンのモデル構成について」をご覧ください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、またはブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル	チューナー(レコーダー)を4つ内蔵しているモデルのことです。 最大4つの番組を同時に録画したり、視聴している番組の裏番組を複数録画することができます。
地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル	チューナー(レコーダー)を2つ内蔵しているモデルのことです。 最大2つの番組を同時に録画したり、視聴している番組の裏番組を録画することができます。
地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル	チューナー(レコーダー)を1つ内蔵しているモデルのことです。 1つの番組のみ視聴したり録画することができます。
ぱっと観テレビモデル	パソコンを起動しなくてもテレビを楽しむことができる「ぱっと観テレビ」機能を搭載しているモデルのことです。
タッチパネルモデル	タッチパネルディスプレイが搭載されているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 8.1	Windows 8.1 Update Windows 8.1 Pro Update
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® 11
G-GUIDE for Windows	G-GUIDE® for Windows

◆このマニュアルで使用している用語について

フルスクリーンモード	リモコンで操作することができるモードです。 リモコンのボタンでSmartVisionを起動すると、このモードになります。
マウス操作専用モード	録画した番組の整理や映像の簡易編集など、フルスクリーンモードよりさらに多くの機能が使えるモードです。マウス操作専用モードには、用途に応じて使い分けられる3つのモード(スリムモード/ノーマルモード/アドバンスモード)があります。マウス操作専用モードへの切り換えについては、『テレビを楽しむ本 基本編』PART8の「マウス操作専用モード」をご覧ください。
オンラインヘルプ	マウス操作専用モード画面から表示するヘルプです。マウス操作専用モードでの操作の説明が表示されます。オンラインヘルプの表示手順については『テレビを楽しむ本 基本編』PART8の「マウス操作専用モードのモードを切り換える」の「オンラインヘルプを表示する」をご覧ください。
ライブモード	放送中の番組をそのまま視聴するモードです。
タイムシフトモード	放送中の番組を一時的に録画し、それを再生して視聴するモードです。録画番組を楽しむときのように一時停止や巻き戻しなどの操作ができます。
B-CASカード	デジタル放送の視聴に必要なカードです。名刺サイズのB-CASカードと携帯電話用ICカード(SIMカード)サイズのminiB-CASカードがあります。このマニュアルではいずれも「B-CASカード」と表記します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 8.1 Update、Windows 8.1 Pro Updateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- (10) この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。
- (11) 本商品は録画のときに暗号化技術を使っているため、故障内容によっては、修理しても録画した番組が再生できなくなる場合があります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。

BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータ株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。

SmartVisionは、NECパーソナルコンピュータ株式会社の登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

ディーガはパナソニック株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

G-GUIDE for Windows は、米国Rovi Corporation および/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。

米国Rovi Corporation およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

本製品には、NECのフォント「FontAvenue®」を使用しています。

Twitterという名称、Twitter バードは、Twitter, Inc.の登録商標です。

Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。

インテル、Intel、Pentium、Celeron、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

ぱっと観テレビを実現するソフトウェアの使用条件や権利等については下記URLを参照ください。

<http://121ware.com/product/pc/support/tvlinux/index.html>

© NEC Personal Computers, Ltd. 2014

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

目次

CONTENTS

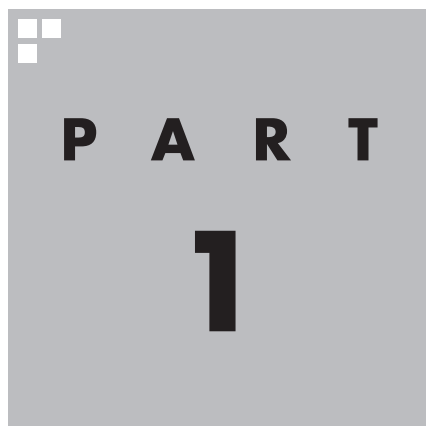
このマニュアルの表記について	i
----------------------	---

PART	テレビをもっと活用する	1
1	外付けハードディスクを利用する	2
	登録できるハードディスクについて	2
	ハードディスクを登録する	2
	登録したハードディスクに番組を録画する	3
	ハードディスクを登録するときの注意	4
	番組の情報をインターネットで探す	5
	「ウェブ検索」について	5
	番組表や録画番組一覧から「ウェブ検索」する	5
	テレビや録画番組を見ているときに「ウェブ検索」する	8
	「ウェブ検索」で使う検索プロバイダーを変更する	10
	録画番組を携帯電話で楽しむ(外でもVIDEO)	11
	外でもVIDEO って何?	11
	録画した番組を携帯電話に転送する	14
	録画するとき外でもVIDEOの設定をする	19
	自動転送を使う	25
	簡単転送を使う	29
	携帯電話に転送したデータを確認する	31
	ホームネットワークを使って録画した番組を楽しむ	32
	ホームネットワークを使うと	32
	ホームネットワークの準備について	32
	ホームネットダビング	35
	メディアサーバーに保存された番組を楽しむ	39
	映像をホームネットワークで配信する	41
	SmartVision/PLAYERを使ってテレビを楽しむ	43
	SmartVision/PLAYERについて	43
	SmartVision/PLAYERを利用できるパソコンについて	44
	つぶやきプラスを活用する	45
	つぶやきプラスの主な機能	45
	つぶやきプラスを使う前の準備	47
	つぶやきプラスの基本操作	52
	ツイッター IDをロックする	53

視聴番組のツイートを表示する	55
裏番組のツイートを表示する	59
ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける(つぶやきシーン検索)	60
特定のツイートを非表示にする	61
おすすめ番組を利用して録画予約する	62
テレビを見ながらツイートを投稿する	63
ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)	65
ツイートの多い番組をお知らせする機能について(盛り上がり通知)	66
一歩すすんだつぶやきプラスの設定	67
スマートフォンで操作する	73
「Smartリモコン」について	73
「Smartリモコン」でできること	74
リモコンとして登録する	75
Smartリモコン用ネットワークアダプター切替ツールを使う	76
G-GUIDE for Windowsで予約する	78
もうひとつの番組表「Gガイド」	78
G-GUIDE for Windowsの初期設定をする	79
G-GUIDE for Windowsで予約する	81
その他の機能	83
通知領域のアイコンについて	83
デジタル放送の番組サービスについて	84
録画ファイルのプロパティを変更する	84

PART	付 録	85
2	設定	86
	番組表の設定	86
	予約録画の設定	86
	リモコンの設定	87
	外でもVIDEO(簡単転送)の設定	88
	パレンタル設定	88
	データ放送の設定	89
	テレビ優先モードの設定	89
	初期設定のやりなおし	89

ダビング10とは	90
コピー制御方式について	90
ダビング10とコピーワンスの違い	90
ダビング10でできること	91
録画モードを変換した番組と簡易編集した番組の ダビング10についての注意	92
コピーできる回数を確認するには	93
個人情報を消去する	95
消去できるデータについて	95
データを消去する	95
自動サインインの設定をする	98
設定を変更する	98
各モードの画面説明	99
その他の機能・情報	103
ハードディスクの空き容量の制限値を変更する	103
録画に使えるハードディスクの容量が少なくなったことを お知らせする基準値を変更する(地デジ/BS/110度CS・ 4チューナーモデルのみ)	104
全画面表示のときの画面の表示方法を変える	105
BS・110度CSデジタル放送の有料放送の受信契約方法について	105
各画面に表示される「録画可能時間」に関するご注意	106
索引	107



テレビをもっと活用する

ここでは、テレビをより便利に使うための機能について説明しています。

テレビの設定や基本的な使い方については、『テレビを楽しむ本 基本編』をご覧ください。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

外付けハードディスクを利用する

外付けハードディスクに録画番組を保存したいときは、SmartVisionに増設したハードディスクドライブを登録してください。

外付けハードディスクをSmartVisionに登録すると、番組を外付けハードディスクへ直接録画できるようになります。

また、Cドライブに録画した番組を外付けハードディスクに移動することもできます。お気に入りの番組を整理するときや、Cドライブの空き容量を増やしたいときに便利です。

登録できるハードディスクについて

USB 2.0およびUSB 3.0接続の外付けハードディスクドライブ(NTFSフォーマット)が利用できます。サポート対象機種について詳しくは、次のURLをご覧ください。

<http://121ware.com/catalog/hddlist/>

※USB 3.0は対応モデルのみ

！チェック

パスワードが設定された外付けハードディスクには録画できないことがあります。

ハードディスクを登録する

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 登録したいハードディスクとパソコンを接続する

設定確認画面が表示されます。

3 「次へ」をクリック



録画フォルダー作成画面が表示されます。

📖 参照

マウス操作専用モードが表示されているときの操作について
→オンラインヘルプの「使ってみよう」-「SmartVisionで録ろう!」-「増設したハードディスクを登録して、録画をしよう」

👉 ポイント

ここで「キャンセル」を選択すると、次回以降、同じハードディスクを接続してもハードディスクを登録する画面が表示されなくなります。

この場合でも、録画番組を保存する録画フォルダーを作成する操作で、増設したハードディスクを登録することができます。

録画フォルダーの作成については、『テレビを楽しむ本 基本編』PART8の「録画フォルダーを作成する」をご覧ください。

4 録画フォルダーを作成する

- ① ハードディスクのドライブ(ボリューム)を確認する
- ② 録画番組を保存する録画フォルダーのフォルダ名を確認する
- ③ 「次へ」をクリック



登録完了画面が表示されます。

ここで作成したフォルダ名は、後でこのハードディスクを録画番組保存先に設定するときに必要なになります。フォルダ名を控えておいてください。

フォルダ名:

5 「閉じる」をクリック

これで、SmartVisionでハードディスクが利用できるようになりました。

チェック

- ここで作成した録画フォルダーは、SmartVisionからのみ管理できます。Windowsのエクスプローラーなどでは操作できません。
- フォルダ名は、キーボードで変更することができます。
- ハードディスク内に複数のパーティションがある場合、そのうちの一つをSmartVision用を選択することができます。

登録したハードディスクに番組を録画する

登録したハードディスク(p.2)に、番組を直接録画するよう設定します。なお、ここで説明している操作が完了すると、録画した番組は、Cドライブではなく登録したハードディスクに保存されるようになります。

必要な場合のみ、この操作をおこなってください。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

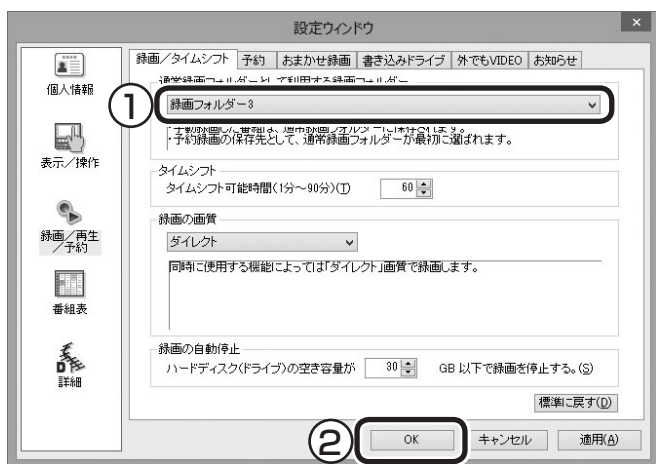
3 (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。



4 録画番組の保存先を選ぶ

- ①「通常録画フォルダーとして利用する録画フォルダー」の▼をクリックし、番組を保存する録画フォルダーをクリックする
- ②「OK」をクリックする



これで、登録したハードディスクに番組を直接録画できるようになりました。

チェック

- 録画番組の保存先に設定した外付けハードディスクが取り外されていたとき、予約録画された番組は、ご購入時に設定されていた保存先(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)に保存(代理録画)されます。録画番組の保存先に外付けハードディスクを設定したときは、ご購入時に設定されていた録画フォルダー(録画フォルダー 1、録画フォルダー 2)をSmartVisionから削除しないでください。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、リモコンの【録画】を押して番組を録画することができません。
- 登録したハードディスクに番組を直接録画するよう設定したとき、そのハードディスクがパソコンに接続されていない場合は、番組をタイムシフトモードに切り換えることができません。
- このパソコンで録画できる番組の総数(パソコンのハードディスクと外付けハードディスクに録画した番組の合計)には上限があります。これを超えると、SmartVisionの「録画番組一覧」から不要な録画番組を削除してください。登録された外付けハードディスクに保存された番組を削除するときは、その外付けハードディスクをこのパソコンに接続してください。なお、Windowsのエクスプローラーなどから録画番組のファイルを削除してもSmartVision上では番組が削除されたことになりません。ご注意ください。録画の上限については、『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「録画するときの注意」をご覧ください。

ハードディスクを登録するときの注意

ハードディスクを登録する際には、次の点に注意してください。

- NTFS以外のフォーマットのハードディスクは、NTFSフォーマットに変更することができます。詳しくはハードディスクの取扱説明書などをご覧ください。
- NTFS以外のフォーマットのハードディスクを接続した場合、同じハードディスクを再び接続しても、ハードディスクの登録画面は表示されません。ただし、NTFS以外のフォーマットのハードディスクをNTFSフォーマットに変更した場合、変更後の1回目の接続時にはハードディスクの登録画面が表示されます。
- パソコンを再セットアップした場合は、テレビ初期設定を終了した後に、テレビの映像が表示されている状態で、登録済みの外付けハードディスクをパソコンに接続して、再登録をしてください。この操作をおこなわずに、録画番組を削除すると、外付けハードディスクに保存された番組が利用できなくなる場合があります。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

番組の情報をインターネットで探す

気になる番組や人物(出演者など)、番組の主題歌について、インターネットを使って検索することができます。

「ウェブ検索」について

「ウェブ検索」は、テレビ番組の出演者や主題歌などについて、インターネットで検索できる機能です。検索サイトでキーワードを入力する必要はありません。マウスの操作だけで検索することができます。

番組表や録画番組一覧で面白そうな番組を見つけたとき、テレビ放送や録画番組を見ていて気になる新人が出てきたとき、手軽に検索してみましょう。

● チェック

- 「ウェブ検索」機能を利用するには、インターネットに接続できる状態になっている必要があります。
- Internet Explorerが無効になっているときは、「ウェブ検索」機能が利用できません。

番組表や録画番組一覧から「ウェブ検索」する

■ 番組表から検索する

ここでは、番組表の画面から、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 (番組表)をクリック



番組表が表示されます。

👉 ポイント

操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 情報を調べたい番組を選ぶ

- ① 日付を選ぶ
- ② 放送局を表示する
- ③ 時間を合わせ、調べたい番組を表示する
- ④ 調べたい番組をクリック



画面上の詳細情報欄に、番組情報が表示されます。

4 「ウェブ検索」をクリック



5 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名(出演者など)をクリック



自動的にInternet Explorerが起動し、検索結果が表示されます。

6 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

ポイント

- 手順5で「番組名検索」をクリックすると、手順6の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- 手順5で「主題歌検索」をクリックすると、手順6の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- 番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

- 「ウェブ検索」機能がサポートしているWebブラウザはInternet Explorerのみです。Internet Explorer以外のWebブラウザをご利用の場合でも、Internet Explorerが起動します。
- Internet Explorerが起動するときにSmartVisionが全面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

■「録画番組一覧」から検索する

「ウェブ検索」機能は、「録画番組一覧」に表示されている番組の情報を調べることもできます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 番組を選んで情報を検索する

- ① 調べたい番組をクリック
- ② 「ウェブ検索」をクリック



この後の操作は、「番組表から検索する」の手順5以降(p.6)をご覧ください。

テレビや録画番組を見ているときに「ウェブ検索」する

■ テレビを見ているときに検索する

ここでは、ライブモードでテレビを見ながら、人名(出演者など)で検索する方法を説明します。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 「ライブ」タブをクリック



放送中の番組がライブモードで表示されます。必要に応じて、チャンネルを切り換えてください。

3 「映像メニュー」をクリック



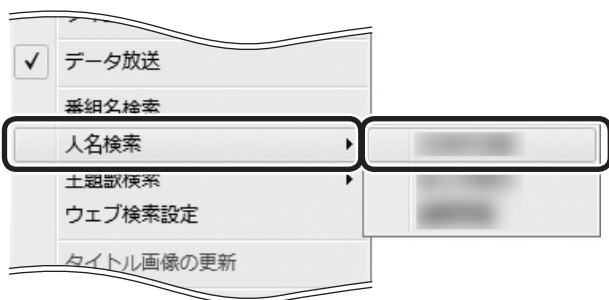
ポイント

タイムシフトモードでテレビを見ているときは、「ウェブ検索」の機能が使えません。

ポイント

画面上を右クリックして、映像メニューを表示させることもできます。

4 表示されたメニューから「人名検索」を選び、調べたい人名(出演者名など)をクリック



自動的にInternet Explorerが起動し、検索結果が表示されます。

5 見たい検索結果をクリック

選んだホームページが表示されます。

■ 録画番組を見ているときに検索する

録画した番組を再生しているときも、その番組の情報を「ウェブ検索」することができます。

1 操作パネルの「ノーマル」をクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

2 (録画番組一覧)をクリック

録画番組一覧が表示されます。

3 録画番組一覧で視聴する番組をダブルクリック

録画番組が再生されます。

4 「テレビを見ているときに検索する」の手順3(p.8)以降の操作をおこなう

テレビを見ているときと画面に表示されている内容が一部異なりますが、操作の流れは同じです。

ポイント

- 手順4で「番組名検索」をクリックすると、手順5の画面で番組名での検索結果が表示されます。
- 手順4で「主題歌検索」をクリックすると、手順5の画面で主題歌での検索結果が表示されます。
- 番組情報の内容によっては、人名や主題歌名が正しく表示されないことがあります。

チェック

- 「ウェブ検索」機能がサポートしているWebブラウザはInternet Explorerのみです。Internet Explorer以外のWebブラウザをご利用の場合でも、Internet Explorerが起動します。
- Internet Explorerが起動するときにSmartVisionが全画面表示になっていた場合は、SmartVisionがウィンドウ表示になります。

「ウェブ検索」で使う検索プロバイダーを変更する

検索結果を表示する検索プロバイダー(検索サイト)を変更することができます。

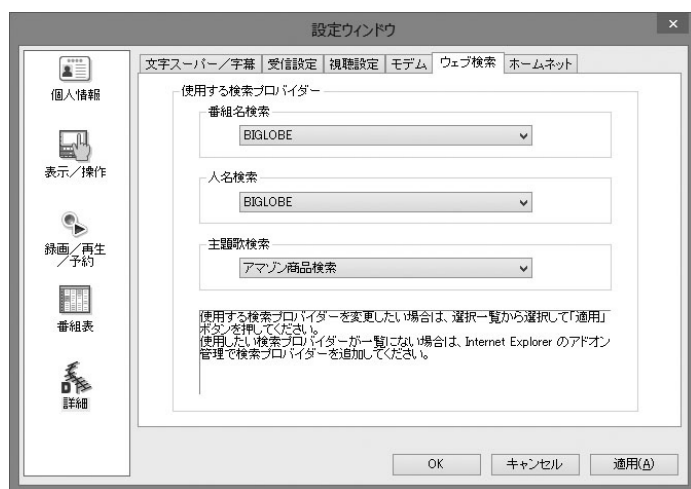
1 マウス操作専用モード(ノーマルモードまたはアドバンスモード)で、 (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

2 左側の「詳細」をクリックし、「ウェブ検索」タブをクリック

3 検索プロバイダーを選ぶ

「番組名検索」・「人名検索」・「主題歌検索」の▼をクリックし、表示されたメニューから使用する検索プロバイダーを選んでクリックします。



4 「OK」をクリック

これで検索プロバイダーの変更は終了です。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

録画番組を携帯電話で楽しむ (外でもVIDEO)

パソコンで録画した番組を携帯電話などの機器に転送(ダビング)して、外出先で楽しむことができます。

外でもVIDEO って何？

録画した番組を携帯電話などの機器へ転送し、外出先などでも楽しむ機能、それが「外でもVIDEO」です。
何度も見たいお気に入りの番組や、ゆっくり見ている時間がなくてどんどんたまってしまいう連続ドラマを、携帯電話に入れて持ち出しましょう。

■ パソコンとの接続について

2つの接続方法があります。

SDカード/USB転送の場合

- ・ USBケーブルを使ってパソコンと接続する。
- ・ 携帯電話のSDカードを取り出し、パソコンにセットする。

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

- ・ DLNAおよびDTCP-IPに対応したスマートデバイス(スマートフォン、タブレット)のワイヤレス通信機能を使い、ホームネットワークでパソコンと接続する。

このマニュアルでは、上のいずれの接続方法についても「携帯電話などの転送先の機器をパソコンに接続する」と表記します。

■ ワイヤレス転送する前の準備

ワイヤレス転送をご利用になるときは、あらかじめホームネットワークへの接続などの準備が必要です。詳しくはこのPARTの「ホームネットワークの準備について」(p.32)をご覧ください。

ポイント

- USBケーブルでの接続やSDカードの取り出し方などについては、携帯電話などの転送先の機器の取扱説明書をご覧ください。
- SDカードについては「SDメモリーカードスロット」(※)「ソフト&サポートナビゲーター」▶ 検索番号 93020020 で検索)をご覧ください。

ポイント

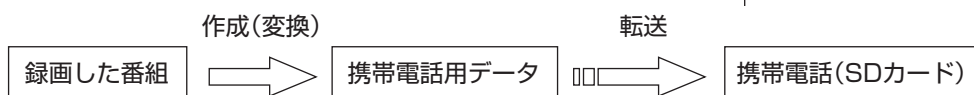
- ワイヤレス転送の場合、転送先のスマートデバイスとパソコンの接続の設定によっては、通信圏内(電波が届く範囲)に転送先のスマートデバイスが入った時点で、自動的にパソコンに接続されることがあります。
- ワイヤレスで転送する機能を「外でもVIDEO ワイヤレス」と呼びます。

■ 携帯電話に番組を転送する仕組み

転送先の機器によって、転送の仕組みが一部異なります。

SDカード/USB転送の場合

番組を転送する前に、携帯電話用のデータが作成されます。



- ・ 録画した番組を選んで、パソコンに接続した携帯電話に手動で転送することができます。(p.14)
- ・ 録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(転送する候補)として設定することができます。設定した番組は、録画と同時に携帯電話用のデータが作成されます。(p.19)
- ・ 番組の転送先としてあらかじめ携帯電話を登録しておくことができます。また、録画した番組が自動的に転送されるよう設定することができます。(p.25)

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

CPUによる画質変換対応モデルの場合:

録画した番組のデータを変換せず、そのままスマートデバイスに転送できます。

また、転送する際、スマートデバイスでの視聴に適した「モバイル画質」に変換することもできます。

CPUによる画質変換非対応モデルの場合:

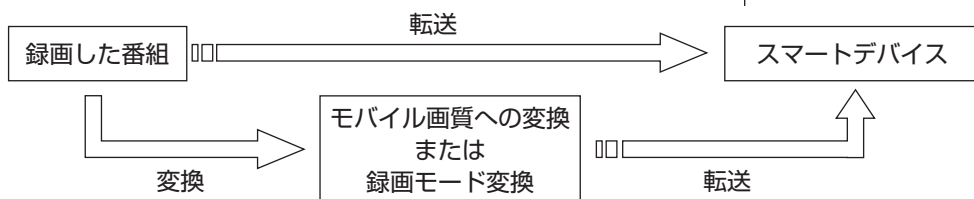
録画した番組のデータを変換せず、そのままスマートデバイスに転送できます。

また、転送する際、録画モード変換することもできます。



ポイント

「モバイル画質」については「携帯電話用のデータについて」の「ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)」(p.13)を参照してください。



- ・ 録画した番組を選んで、パソコンに接続したスマートデバイスに手動で転送することができます。(p.14)
- ・ 録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(転送する候補)として設定することができます。なお、ワイヤレス転送の場合は、携帯電話用のデータは作成されません。(p.19)
- ・ 番組の転送先としてあらかじめスマートデバイスを登録しておくことができます。また、録画した番組が自動的に転送されるよう設定することができます。(p.25)

■ 携帯電話用のデータについて

SDカード/USB転送の場合

転送前に携帯電話用のデータが作成されます。

携帯電話用のデータの録画モード(画質モード)は、「ワンセグ画質(320×180)」と「SD画質(640×360)」の2種類から選ぶことができます。

画質モード	1時間の番組を保存するために必要なSDカード容量	特徴
ワンセグ画質 (320×180)	約258MB	ワンセグ放送を録画できる多くの携帯電話で再生できます。解像度は320×180です。
SD画質 (640×360)	約484MB	ワンセグ画質の4倍の解像度でより高画質の映像が楽しめるモードです。しかし、再生できる携帯電話がかぎられます。解像度は640×360となります。

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

CPUによる画質変換対応モデルの場合:

録画した番組のデータを変換せず、そのままスマートデバイスに転送できます。

また、転送する際、スマートデバイスでの視聴に適した「モバイル画質」*に変換することもできます。

※画質の変換は転送と同時に起こわれます。転送元の番組データによって解像度やビットレートが変化します(最大で1280×720、約2Mbps)。転送元の番組データより高い解像度やビットレートには変換されません。

CPUによる画質変換非対応モデルの場合:

録画した番組のデータを変換せず、そのままスマートデバイスに転送できます。

また、転送する際、録画モード変換することもできます。

■ 録画番組が転送できる機器について

SDカード/USB転送の場合

対応している機器について詳しくは、次のURLをご覧ください。

<http://121ware.com/catalog/sotodemo/>

番組のデータは、携帯電話にセットされたSDカードに転送されます。

転送に対応しているSDカードは次のとおりです。

- ・ microSDカード
- ・ microSDHCカード
- ・ SDXCカード

なお、携帯電話とパソコンを接続するケーブルや、携帯電話からSDカードを取り出す方法などについては、携帯電話に添付されたマニュアルをご覧ください。

！チェック

- 一部の携帯電話ではUSBケーブルで接続しても録画番組が転送できないことがあります。この場合は、携帯電話からSDカードを取り出し、パソコンにセットして転送してください。
- 長時間番組は次の単位に分割して転送されます。
 - ・ワンセグ画質:約6時間30分
 - ・SD画質:約3時間30分
- microSDカードは、必ず市販のSDカード変換アダプタに装着してから、パソコンのスロットにセットしてください。

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

対応している機器について詳しくは、次のURLをご覧ください。
<http://121ware.com/catalog/sotodemo-w/>

ワイヤレス転送をご利用になるときは、転送元のパソコンと転送先のスマートデバイスをあらかじめホームネットワークに接続する準備が必要です。詳しくは「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.33)をご覧ください。

■ CPRMアップデートについて

録画した番組を転送する前に、CPRMのアップデートが必要です。SmartVisionのアップデートの画面が表示されたときは「はい」を選んで【決定】を押し、画面の説明にしたがってアップデートをおこなってください。

CPRMとは、転送先の機器やDVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。録画番組の転送のほか、光ディスクに保存する際にも、この技術が使われます。

ポイント

CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

録画した番組を携帯電話に転送する

ここでは、録画済みの番組を携帯電話などの機器に転送する手順について説明します。

なお、外でもVIDEOで録画した番組の中で、視聴(転送)していないものを、細かい設定を省いて転送する「簡単転送」の機能を使うこともできます。詳しくは「簡単転送を使う」(p.29)をご覧ください。

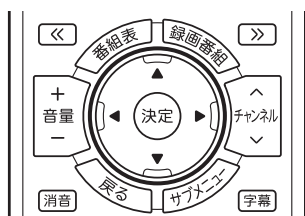
1 携帯電話などの転送先の機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

2 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組一覧」の「通常 録画フォルダー 1」を選んで【決定】を押す



録画番組一覧が表示されます。携帯電話などの機器に転送する番組のコピー制御(コピーできるかどうか)を確認してください。確認の方法について詳しくは、PART2の「コピーできる回数を確認するには」(p.93)をご覧ください。

チェック

転送先の機器とパソコンを接続するときは、転送先の機器の設定(microSDモードやカードリーダーモードの設定や、ホームネットワークの設定)の変更が必要になる場合があります。転送先の機器の設定については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。パソコン(転送元)の設定については、「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.33)をご覧ください。



4 転送する番組を選んで【緑】を押し、次のいずれかの操作をおこなう

SDカード/USB転送の場合

「外でもVIDEO(SDカード/USB転送)」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す。



ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

「外でもVIDEO(ワイヤレス転送)」-「番組を選んで転送」を選んで【決定】を押す。



5 転送する番組を選んで【決定】を押す



選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順5を繰り返して、転送したい番組にチェックマークを付けてください。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

ポイント

- 「簡単転送」を選んで【決定】を押すと、録画予約するとき以外でもVIDEOが設定された未視聴の番組を、細かい設定を省いて転送することができます。詳しくは「転送の条件を設定して簡単転送する」(p.30)をご覧ください。
- 「まとめ表示」されているシリーズ番組を選んだときは、「シリーズすべてを転送」を選んで、そのシリーズのすべての番組を転送の対象にすることができます。
- 「SmartVisionのアップデートについて」の画面が表示されたときは、インターネットに接続してCPRMアップデートをおこなってください。詳しくは、『テレビを楽しむ本 基本編』PART7の「CPRMのアップデートをする」をご覧ください。

ポイント

「まとめ表示」されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて転送の対象になります。

チェック

転送先の機器によって、再生できる録画モード(画質モード)が異なります。対応している機器について詳しくは、NECサポートサイト(<http://121ware.com/>)をご覧ください。

6 【緑】を押す

転送する番組の一覧が表示されます。接続した機器によって画面が一部異なります。

7 「外でもVIDEOの画質」を選んで【決定】を押し、転送する画質を選ぶ

接続した機器によって操作が異なります。

SDカード/USB転送の場合

表示されたメニューから「SD画質」または「ワンセグ画質」を選んで【決定】を押し、手順8に進んでください。



ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

表示されたメニューから「変換しない」または転送する画質(録画モード)を選んで【決定】を押し、手順9に進んでください。



ポイント

「外でもVIDEOのデータが作成済みの番組は、その画質のまま転送する。」を選んで【決定】を押し、チェックを付けると、すでに携帯電話用のデータが作成されている番組については、そのデータが指定した画質でなくてもそのまま転送されます。たとえば、すでにSD画質のデータが作成されているときは、「ワンセグ画質」を選んでも、ワンセグ画質のデータは作成されず、既存のSD画質のデータが転送されます。

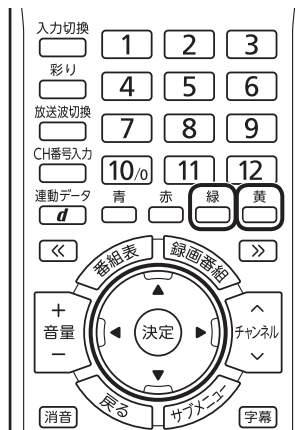
ポイント

- 録画された番組の録画モード(画質)より高い画質を選ぶことはできません。録画モードについて詳しくは『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「録画モードについて」をご覧ください。
- 転送先の機器が選択した画質に対応していないときは転送できません。
- CPUによる画質変換に対応したモデルでは、転送する画質として、録画モードの他に「モバイル画質」を選ぶこともできます。

8 転送する順序を指定する(SDカード/USB転送の場合のみ)

一覧の上から順に転送されます。必要に応じて転送する順序を指定してください。

- ① 番組の一覧を選んで【決定】を押し、順序を変更したい番組を選ぶ
- ② リモコンの【緑】(上へ移動)または【黄】(下へ移動)を押す
- ③ 【決定】を押す



9 「転送先」を選んで[決定]を押し、接続した機器を選んで[決定]を押し



10 「転送開始」を選んで【決定】を押す



● チェック

- 転送を取り消すときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 転送する番組を追加するときは、【青】を押して、手順5の画面に戻ってください。
- ここで表示される番組のサイズは予測値です。SDカードに転送された番組のサイズとは異なる場合があります。

● チェック

録画番組を転送している間は、パソコンと転送先の機器の接続を解除しないでください。

 ポイント

ムーブされる番組(コピーの残り回数)が1回の番組が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)を含め、同時に使用する機能の一部制限があります。機能の重複を示すメッセージが表示されたときは、それにしたがって優先する機能を選ぶか、他の機能の動作が終了するまでお待ちください。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

携帯電話用のデータの作成を含め、録画モード(画質)の変換中は録画ができません。録画モードの変換が終了すると予測される時間より前に録画予約が入っている場合、画面に確認のメッセージが表示されます。メッセージを読んで操作してください。

転送が始まり、通知領域に転送を示すアイコンが表示されます。

11 「転送が完了しました」と表示されたら、ほかの転送が始まっていることを確認し、[決定]を押す

12 携帯電話とパソコンの接続を解除する

SDカード/USB転送の場合

USBで接続した携帯電話またはパソコンにセットしたSDカードを取り外します。

SDカードを取り外すときは、マウスを使って、デスクトップの通知領域を操作する必要があります。必要に応じてテレビ画面右上のをクリックし、SmartVisionをウィンドウ表示に切り換えてください。

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

必要に応じてホームネットワークとの接続(パソコンとの接続)を解除してください。

ポイント

複数の番組を同時に録画するときの制限などについては、『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「同時録画をおこなうときのご注意」をご覧ください。

チェック

予約の際に外でもVIDEOの設定で録画された番組があり、転送先の機器に自動的に転送される設定になっているときは、ここでの操作の直後にそれらの番組の転送が始まる場合があります。転送先の機器とパソコンの接続を解除する前に、番組の転送が始まっていないかご確認ください。転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。

- ・テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「外でもVIDEO転送(SDカード/USB転送)」または「外でもVIDEO転送(ワイヤレス転送)」と表示されます。
- ・テレビ(SmartVision)のアイコンをデスクトップの通知領域に表示するように設定しているときは、通知領域にまたはが表示されます。

ポイント

SDカードについては「SDメモリーカードスロット」()「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93020020 で検索)をご覧ください。

録画するとき外でもVIDEOの設定をする

録画の予約をするとき、その番組を外でもVIDEOの候補(携帯電話などの機器へ転送する候補)として設定しておくことができます。これらの番組は、転送先として登録された機器がパソコンに接続されたとき自動的に転送されたり、「簡単転送」を使ったとき転送の候補となります。

SDカード/USB転送のときは、録画と同時に携帯電話用のデータも作成されます。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル

おてがる予約で録画するときやおまかせタフ録り(キーワード)で録画するとき、また、時間指定予約で録画するとき、外でもVIDEOの設定ができます。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

おてがる予約で録画するときやおまかせ録画をするとき、また、時間指定予約で録画するとき、外でもVIDEOの設定ができます。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

おてがる予約で録画するときや、時間指定予約で録画するとき、外でもVIDEOの設定ができます。

■ 録画予約と同時に外でもVIDEOの設定をするときの注意

- 次の機能で録画するときは、同時に外でもVIDEOの設定をすることができません。
 - ・ 新番組おまかせ録画
 - ・ おまかせタフ録り(ジャンル)
 - ・ さかのぼり録画
 - ・ 手動録画(視聴中の番組を録画)
- G-GUIDE for Windowsで予約録画するときは、録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることはできません。
- 録画番組が複数音声の番組であっても、記録できる音声は1つだけになります。必要に応じて「詳細設定」にて、記録する音声を指定してください。

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

- 同じ時間帯の番組を複数録画するときは、外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。機能の重複を示すメッセージが表示されたときは、それにしたがって優先する機能を選ぶか、他の機能の動作が終了するまでお待ちください。

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

- 携帯電話用のデータ(「SDカード/USB転送」用のデータ)は、録画モード(画質)が「ダイレクト」の場合のみ作成することができます。
- おまかせ録画で録画するときは、録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることができません。
- すでにほかの番組の録画予約が入っているときは、確認画面が表示されます。表示されたメッセージにしたがって、いずれかの機能をキャンセルするなどの操作をしてください。

ポイント

複数の番組を同時に録画するときの制限などについては、『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「同時録画をおこなうときのご注意」をご覧ください。

■ おてがる予約で録画するとき

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

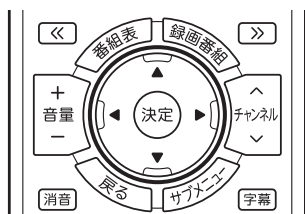


テレビメニューが表示されます。

ポイント

『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」も合わせてご覧ください。

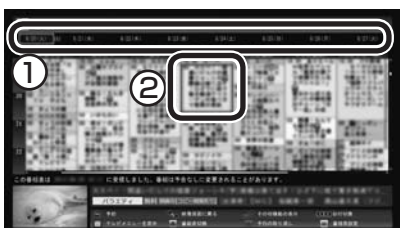
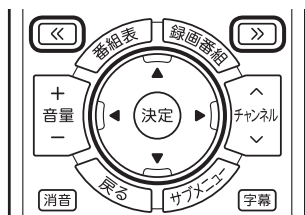
2 「番組表」の、予約する放送の種類を選んで[決定]を押す ここでは「地上デジタル」を選びます。



番組表が表示されます。

3 予約する番組を決める

- ① リモコンの[<] [>]で日付を選ぶ
- ② 予約したい番組を選んで[決定]を押す



番組を予約する画面が表示されます。

4 「外でもVIDEO録画」を選んで[決定]を押し、「する」を選んで[決定]を押す



「外でもVIDEO録画」が有効になり、設定されている内容が表示されます。変更する必要がなければ手順7に進んでください。

5 「変更」を選んで【決定】を押す



「外でもVIDEO録画の詳細設定」画面が表示されます。

6 設定内容を変更する

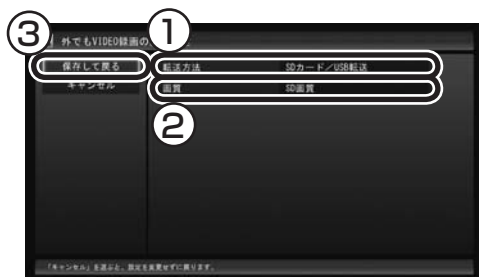
①「転送方法」を選んで【決定】を押し、接続方法に合わせて次のどちらかを選んで【決定】を押す。

- ・「SDカード/USB転送」
- ・「ワイヤレス転送」

②「転送方法」で「SDカード/USB転送」を選んだときは、「画質」を選んで【決定】を押し、次のどちらかを選んで【決定】を押す。

- ・「SD画質」
- ・「ワンセグ画質」

③「保存して戻る」を選んで【決定】を押す。



7 「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました。」というメッセージが表示されます。

ポイント

「ワイヤレス転送」を選んだときは、画質の設定は不要です。自動転送されるとき画質については、「自動転送の詳細な設定をする」(p.26)をご覧ください。

チェック

外でもVIDEOの候補として設定された録画番組を自動転送するように設定していると、録画終了後に、パソコンに接続された機器へ転送が始まります。

8 【決定】を押す

■ おまかせ録画するとき(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみ)

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「おまかせ録画」を選んで【決定】を押す



おまかせ録画の条件一覧が表示されます。

3 予約したい条件名を選んで【決定】を押す



条件設定の画面が表示されます。

ポイント

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルや地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルで、同じ時間帯の番組を複数録画するときは、外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。同時動作についての制限に関するメッセージが表示されたときは、表示された内容にしたがって操作してください。

ポイント

『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「おまかせ録画をする(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル・地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルのみ)」も合わせてご覧ください。

ポイント

マウス操作専用モードで、おまかせ録画と同時に外でもVIDEOの設定をすることもできます。

4 「外でもVIDEO録画」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押す



「外でもVIDEO録画」が有効になります。

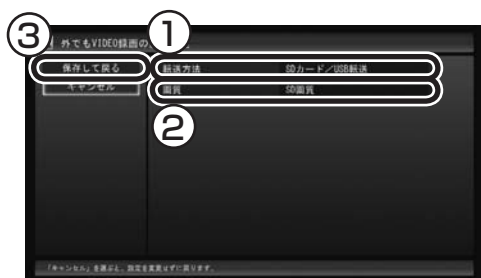
5 「変更」を選んで【決定】を押す



「外でもVIDEO録画の詳細設定」画面が表示されます。

6 設定内容を変更する

- ① 「転送方法」を選んで【決定】を押し、接続方法に合わせて次のどちらかを選んで【決定】を押す。
 - ・「SDカード/USB転送」
 - ・「ワイヤレス転送」
- ② 「転送方法」で「SDカード/USB転送」を選んだときは、「画質」を選んで【決定】を押し、次のどちらかを選んで【決定】を押す。
 - ・「SD画質」
 - ・「ワンセグ画質」
- ③ 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す。



7 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

8 【緑】を押して「有効」にする

9 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

！チェック

地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデルでは、おまかせ録画するとき、外でもVIDEOの設定をすることができません。

📌ポイント

「ワイヤレス転送」を選んだときは、画質の設定は不要です。自動転送されるとき画質については、「自動転送の詳細な設定をする」(p.26)をご覧ください。

📌ポイント

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。同時動作についての制限に関するメッセージが表示されたときは、表示された内容にしたがって操作してください。

■ おまかせタフ録り(キーワード)するとき(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「[おまかせタフ録り]キーワード設定」を選んで[決定]を押す



「[おまかせタフ録り]キーワード設定」画面が表示されます。

3 予約したいキーワードを選んで[決定]を押す



4 「外でもVIDEO録画」を選んで[決定]を押し、「する」を選んで[決定]を押す



「外でもVIDEO録画」が有効になります。

5 「変更」を選んで[決定]を押す



「外でもVIDEO録画の詳細設定」画面が表示されます。

ポイント

『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「おまかせタフ録りする(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)」も合わせてご覧ください。

6 設定内容を変更する

- ①「転送方法」を選んで【決定】を押し、接続方法に合わせて次のどちらかを選んで【決定】を押す。
 - ・「SDカード/USB転送」
 - ・「ワイヤレス転送」
- ②「転送方法」で「SDカード/USB転送」を選んだときは、「画質」を選んで【決定】を押し、次のどちらかを選んで【決定】を押す。
 - ・「SD画質」
 - ・「ワンセグ画質」
- ③「戻る」を選んで【決定】を押す。



7 「戻る」を選んで【決定】を押す

8 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

ポイント

「ワイヤレス転送」を選んだときは、画質の設定は不要です。自動転送されるときは画質については、「自動転送の詳細な設定をする」(p.26)をご覧ください。

ポイント

同じ時間帯の番組を複数録画するときは、外でもVIDEOの携帯用の録画(SD画質・ワンセグ画質)を含め、同時に使用する機能に一部制限があります。同時動作についての制限に関するメッセージが表示されたときは、表示された内容にしたがって操作してください。

ポイント

キーワードが無効になっているときは、そのキーワードを選んで【緑】を押し、有効にしてください。

自動転送を使う

録画の予約をするときに外でもVIDEOの設定をしておいた番組が、転送先の機器に自動的に転送されるよう設定できます。
自動転送するために、パソコンをタイマーで起動させることもできます。

次のとき、自動転送がおこなわれます。

SDカード/USB転送の場合

1. 携帯電話がパソコンに接続されているとき、外でもVIDEOの番組の録画が完了した。
2. 録画済みの外でもVIDEOの番組があり、携帯電話がパソコンに接続された状態で、自動転送のためのタイマーが働きパソコンが起動した。

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

1. 転送先の機器がパソコンに接続されているとき、外でもVIDEOの番組の録画が完了した。
2. 録画済みの外でもVIDEOの番組があるとき、転送先の機器がパソコンに接続された。
3. 録画済みの外でもVIDEOの番組を自動転送するためにパソコンがタイマーで起動し、スマートデバイスがホームネットワークでパソコンに接続された。

チェック

コピーワンスで放送された番組は自動転送できません。必要に応じて手動で転送してください。

■ 自動転送を手軽に設定する

自動転送の転送先が未設定のとき、転送可能な機器を接続すると、「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面が表示されます。メッセージにしたがって操作するだけで、接続した機器を転送先として設定できます。

なお、この方法で転送先の設定をおこなうときは、次の操作が必要になることがあります。

- ・「SmartVisionのアップデートについて」の画面が表示されたときは、インターネットに接続してCPRMアップデートをおこなってください。
- ・「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

■ 自動転送の詳細な設定をする

1 携帯電話など転送先に指定する機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されたときは、「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「設定」の「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」を選んで【決定】を押す



「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」が表示されます。

4 自動転送の設定をする

- ① 「転送する番組」を選んで【決定】を押し、転送方法を選んで【決定】を押す。
ご購入時の設定では「最近1週間の番組」が選ばれています。必要に応じて、「最近の10番組」または「すべての番組」を選んでください。
- ② 「自動転送」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押す。
- ③ 転送方式を選ぶ。

SDカード/USB転送の場合

「転送先(SDカード/USB転送)」を選んで【決定】を押し、接続した携帯電話またはセットしたSDカードを選んで【決定】を押してください。

ポイント

- 「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面で「いいえ」を選ぶと「外でもVIDEO」の自動転送先に設定しませんでした。」とのメッセージが表示され、次回以降、同じ機器を接続しても「外でもVIDEO自動転送の設定」の画面が表示されなくなります。
- CPRMアップデートについては、『テレビを楽しむ本 基本編』PART7の「CPRMのアップデートをする」をご覧ください。

ポイント

自動転送の設定は、簡単転送(p.29)の設定と共通です。

ポイント

転送先に「転送先を検索」と表示されたときは、「転送先を検索」をクリックし、画面に表示されたメッセージにしたがって次のいずれかの操作してください。

「SmartVisionをアップデートしてください。」と表示された場合は、『テレビを楽しむ本 基本編』PART7の「CPRMのアップデートをする」をご覧ください。SmartVisionをアップデートしてください。(SDカード/USB転送の場合)

「ライセンスを取得する必要があります。」と表示された場合は、このPARTの「外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備」(p.33)をご覧ください。ライセンスを取得してください。(ワイヤレス転送の場合)

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

「転送先(ワイヤレス転送)」を選んで【決定】を押し、接続した機器を選んで【決定】を押してください。

- ④ 番組を転送するためにパソコンを自動で起動するかどうか設定する。

パソコンを自動で起動するときは「タイマーによる自動転送」を選んで【決定】を押し、「する」を選んで【決定】を押してください。

- ⑤ 「タイマーによる自動転送」で「する」を選んだときは、パソコンが起動する時刻を指定する。

表示されている時刻を選んで【決定】を押し、【矢印】の左右ボタンで時または分を選び、【矢印】の上下ボタン(または数字ボタン)で時刻を指定して【決定】を押してください。



5 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで設定が完了しました。必要に応じて転送先の機器とパソコンの接続を解除してください。

■ 自動転送中の表示について

自動転送が始まっているかどうかは、次の方法で確認できます。

- ・ テレビの画面を表示しているときは、映像画面左下に「外でもVIDEO転送(SDカード/USB転送)」または「外でもVIDEO転送(ワイヤレス転送)」と表示されます。
- ・ テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示するように設定しているときは、デスクトップの通知領域にSDまたはが表示されます。

■ 自動転送の結果を確認するときは

自動転送の結果に問題があったときは、次の操作で転送の状況を確認できます。

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わって、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

！チェック

- CPUによる画質変換に対応したモデルでは、「ワイヤレス転送時の画質」を選んで【決定】を押し、転送するときの画質を選ぶことができます。「変換しない」を選んだときは録画したときの画質(録画モード)で転送されます。「モバイル画質」を選んだときは、スマートデバイスでの視聴に適した画質で転送されます。
- CPUによる画質変換に対応していないモデルでは、録画したときの画質(録画モード)で転送されます。

ポイント

「タイマーによる自動転送」でパソコンが起動するのは、未転送の録画番組があるときだけです。

ポイント

Windowsのスタート画面でも同様のメッセージが表示されます。

ポイント

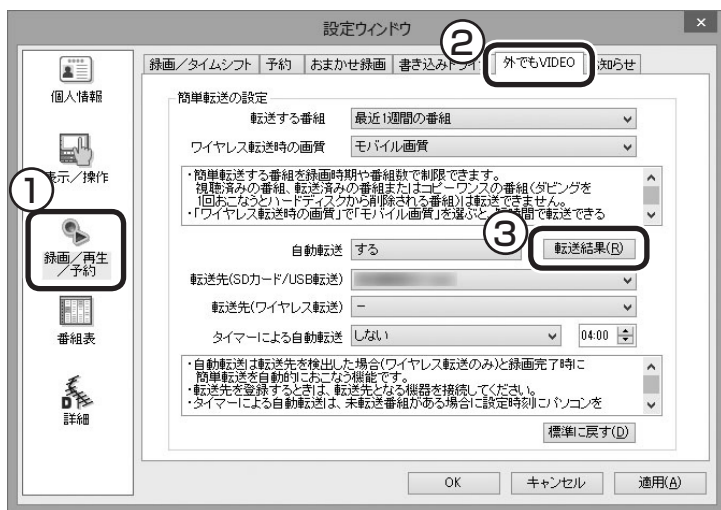
操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

3 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

4 自動転送の結果を表示する

- ①「録画／再生／予約」アイコンをクリック
- ②「外でもVIDEO」タブをクリック
- ③「転送結果」をクリック



「自動転送の結果一覧」が表示されます。

5 自動転送の結果を確認する

一覧で転送結果を確認してください。



「すべて削除」をクリックして、転送結果を削除することができます。



6 「閉じる」をクリック

「自動転送の結果一覧」が閉じます。

7 「OK」をクリック

「設定ウィンドウ」が閉じます。

簡単転送を使う

外でもVIDEOで録画した番組のうち、まだ携帯電話などの機器に転送されていないものを手動で転送する機能です。

あらかじめ転送先の機器を設定しておくとう便利です。簡単転送の設定は、自動転送の設定と共通です。必要に応じて、ここでの操作の前に、「自動転送を使う」(p.25)をご覧ください、設定をおこなってください。

なお、ワイヤレス転送では、この機能は使えません。

1 SmartVisionが起動している状態で、携帯電話など転送先に指定する機器をパソコンに接続する

「外でもVIDEO 簡単転送」の画面が表示されます。

2 「簡単転送」を選んで【決定】を押す



簡単転送が始まり、画面に転送を示すアイコンが表示されます。ご購入時の設定では、「最近1週間の番組」が転送されます。

3 「録画した番組を携帯電話に転送する」の手順11(p.18)以降の操作をおこなう

ポイント

- 転送先が設定されていない状態で手順1の操作をすると、接続した機器を自動転送先として登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてから手順2に進んでください。なお、ここで「いいえ」を選ぶと、以降、その機器を接続してもこのメッセージは表示されなくなります。
- コピーの残り回数が1回の番組は転送の対象になりません。
- 録画番組一覧の画面から簡単転送することもできます。詳しくは「転送の条件を設定して簡単転送する」(p.30)をご覧ください。

ポイント

簡単転送についての説明画面が表示されたときは、内容を確認して「転送開始」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

- コピーの残り回数が1回の番組は転送されません。また、転送先の機器の空き容量によっては、すべての番組が転送されないことがあります。
- 転送された番組、および転送されなかった番組は、「転送が完了しました」の画面で確認できます。

■ 転送の条件を設定して簡単転送する

録画番組一覧の画面から簡単転送することができます。この際、番組を絞り込む条件を変更したり、転送する番組を指定することができます。

1 「録画した番組を携帯電話に転送する」(p.14)の手順1から手順3までの操作をおこなう

録画番組一覧が表示されます。

2 [緑]を押し、次のいずれかの操作をおこなう

SDカード/USB転送の場合

「外でもVIDEO(SDカード/USB転送)」-「簡単転送」を選んで【決定】を押す。

ワイヤレス転送の場合(スマートデバイス)

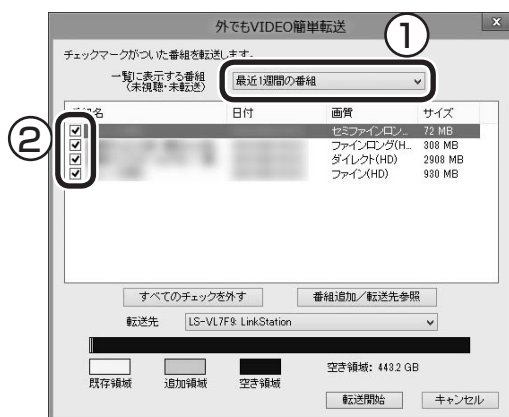
「外でもVIDEO(ワイヤレス転送)」-「簡単転送」を選んで【決定】を押す。

転送される番組の一覧が表示されます。ここからはマウスで操作してください。

3 転送の条件を設定する

チェックの付いている番組が転送されます。設定の必要がなければ、そのまま手順4に進んでください。

- ① 番組を絞り込む条件を選んでクリック
- ② 転送しない番組をクリックしてチェックを外す
最初の状態ではすべての番組にチェックが付いています。



4 「転送開始」をクリック

転送が始まり、デスクトップの通知領域に転送中を示すアイコンが表示されます。

5 「録画した番組を携帯電話に転送する」の手順11(p.18)以降の操作をおこなう

ポイント

- 転送先の機器の空き容量によっては、すべての番組にチェックが付かないことがあります。
- 接続した機器によって画面が一部異なります。ここでは、SDカード/USB転送の場合の画面を記載しています。

ポイント

ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認して「転送開始」をクリックしてください。

携帯電話に転送したデータを確認する

携帯電話などの転送先の機器に番組を追加するときに、転送済みの番組のデータを確認することができます。

1 「録画した番組を携帯電話に転送する」(p.14)の手順1～手順6をおこなう

2 「転送先を参照」を選んで【決定】を押す



転送されている番組の一覧が表示されます。

3 転送先の機器内の番組を確認する



ここで番組を選んで【赤】を押し、不要な番組を削除することができます。

■ 転送に失敗する場合

●SDカード/USB転送の場合

SDカードに不良があると転送に失敗することがあります。手動で転送(p.14)してみてください。何度か試して転送の失敗が続くようであれば、SDカードを交換してください。

●ワイヤレス転送(外でもVIDEO ワイヤレス)の場合

録画の時間と転送の時間が重なると、転送に失敗することがあります。録画が終了してから転送をおこなってください。

また、次の場合は転送を完了できません。

- ・転送する番組のファイルサイズが、転送先に保存できる大きさを超えている
 - ・転送する番組の数が、転送先に保存できる番組の数を超えている
- このような場合は、録画モードを変換してファイルサイズを小さくしたり、転送済みの番組を削除して(番組の数を減らして)ください。

転送できる番組の大きさや数などの制限値については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。

ポイント

ここでは「SDカード/USB転送」の画面を例に説明しています。

チェック

- ワイヤレス転送のときは、「フォーマット」が表示されません。
- SDカード/USB転送のときは、「フォーマット」を選んで【決定】を押し、転送先の機器またはこのパソコンにセットされたSDカードをフォーマットすることができます。フォーマットすると、SDカードに保存されているすべてのデータが消去されます。なお、この画面にはSmartVisionから転送された番組の情報のみが表示されます。ほかのデータがSDカードに保存されていても確認することはできません。必要なデータを誤って消去しないようご注意ください。
- テレビの視聴および録画中は、SDカードをフォーマットしないでください。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

ホームネットワークを使って 録画した番組を楽しむ

ホームネットワークを使うと

- このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って共有できます。

このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークに接続されたメディアサーバー(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスク)にダビング(転送)することができます。これらの番組は、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

- メディアサーバーに保存されている番組を、このパソコンで楽しむことができます。

メディアサーバー(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスク)に保存されている番組は、それがほかのテレビレコーダーなどで録画した番組であっても、ホームネットワークを使ってこのパソコンで視聴することができます。

- このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って配信できます。

このパソコンで録画した番組を、ホームネットワークを使って配信することができます。これらの番組は、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

ポイント

SmartVision/PLAYERに対応した別のパソコンがあれば、パソコンで録画した番組だけでなく、このパソコンで受信中の番組(放送中の番組)も、ホームネットワークを使って楽しむことができます。詳しくはこのPARTの「SmartVision/PLAYERを使ってテレビを楽しむ」(p.43)をご覧ください。

ホームネットワークの準備について

ホームネットワークを使って番組をダビングしたり配信(転送)するため、パソコンおよび接続機器の準備をしてください。

■ ホームネットワークを作る

ホームネットワークに接続するためには、ネットワークの設定が「プライベート ネットワーク」である必要があります。確認および設定の操作は次のとおりです。

- 設定を確認する

1 スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャームバーの「設定」-「コントロール パネル」をクリック

「コントロール パネル」が表示されます。

ポイント

無線LANでホームネットワークに接続する機器の周波数帯(2.4GHz帯または5GHz帯)は、接続先の無線LANルーターの周波数帯と同じにしてください。

2 「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」をクリック

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

3 「アクティブなネットワークの表示」に「プライベート ネットワーク」と表示されていることを確認する

「パブリック ネットワーク」と表示されていたときは、次の「「プライベート ネットワーク」に設定する」をご覧ください。

●「プライベート ネットワーク」に設定する

1 スタート画面で「 (PC設定)」をクリック

「PC設定」が表示されます。

2 「ネットワーク」をクリック

ネットワークが表示されます。

3 ネットワークに接続しているネットワークアダプターのデバイス名(「Wi-Fi」または「イーサネット」)をクリック

ネットワークアダプターの情報が表示されます。

4 「デバイスとコンテンツの検索」をクリックして「オン」にする

■ リモートパワーオン(Wake on LAN)機能を利用するための準備

リモートパワーオン(Wake on LAN)機能とは、ネットワークに接続された機器を遠隔操作で起動させる機能です。ホームネットワーク上のメディアサーバーなどを自動で起動させることができます。リモートパワーオン(Wake on LAN)機能の設定は、メディアサーバー側でおこなってください。

このパソコンをメディアサーバーとして使うときは、必要に応じてリモートパワーオン機能を有効にしてください。詳しくは「LAN ネットワークの設定」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100030 で検索)の「LANネットワークの設定(詳細)」の「リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用する」をご覧ください。

■ 外でもVIDEOのワイヤレス転送の準備

1. パソコン(配信/転送元)の準備

著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。詳しくは「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94041319 で検索)の、「録画番組をホームネットワークを使って視聴する場合の注意事項」をご覧ください。

2. 転送先の機器(スマートデバイス)の準備

次の準備が必要です。

- ・ ホームネットワークへの接続、およびパソコン(配信/転送元)からのアクセスの許可

ポイント

ホームネットワークに機器を接続するときは、LANケーブルを使う方法とワイヤレスLANを使う方法があります。

- ・ LANケーブルを使うとき
「LANについて」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索)とその関連項目を合わせてご覧ください。
- ・ ワイヤレスLANを使うとき
「ワイヤレスLAN(無線LAN)について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100110 で検索)とその関連項目を合わせてご覧ください。

チェック

「デバイスとコンテンツの検索」が表示されないときは、ユーザーアカウント制御(UAC)設定を確認してください。この設定が「常に通知する」になっていると、「デバイスとコンテンツの検索」が表示されません。

チェック

サインイン(ログオン)パスワードが設定されているメディアサーバーは、電源が切れている(シャットダウン)状態からリモートパワーオンで起動することができません。メディアサーバーを電源が切れている(シャットダウン)状態からリモートパワーオンで起動したいときは、サインイン(ログオン)パスワードを設定しないでください。

ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

- ・ DLNAサーバーアプリケーションを起動
詳しくは、利用するスマートデバイスに添付された取扱説明書などをご覧ください。

■ ホームネットダビングの準備

1. パソコンの準備

著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。
詳しくは「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」(📖「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94041319 で検索)の、「録画番組をホームネットワークを使って視聴する場合の注意事項」をご覧ください。

2. ダビング先の機器(NASやHDDレコーダーなど)の準備

次の準備が必要です。

- ・ ホームネットワークへの接続、およびパソコンからのアクセスの許可
詳しくはダビング先の機器に添付された取扱説明書などをご覧ください。

■ メディアサーバーから配信された番組を視聴(録画番組を受信)する準備

1. メディアサーバー(HDDレコーダーなど)の準備

配信を許可する設定が必要となる場合があります。設定が必要かどうか、および設定が必要な場合の手順については、配信元となるメディアサーバー(HDDレコーダーなど)に添付された取扱説明書などをご覧ください。

■ 番組をホームネットワークで配信する準備

このパソコン(SmartVision)で録画した番組や放送中の番組[※]を、ホームネットワークを使ってDTCP-IPに対応した機器(スマートフォン、タブレット、テレビ、SmartVision/PLAYERを搭載した別のパソコンなど)に配信するには次の準備が必要です。

※放送中の番組(ライブ視聴番組)が配信/視聴できるのは次の機器の組み合わせのみです。

配信側:2012年夏モデル以降のVALUESTAR Wシリーズ、VALUESTAR Nシリーズ(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル、地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル、ぱっと観テレビモデル)

受信側:SmartVision/PLAYERが搭載されたモデル

1. 配信先の機器の準備

配信先の機器をホームネットワークに接続します。
詳しくは配信先の機器に添付された取扱説明書などをご覧ください。

2. このパソコン(配信元)の準備

次の準備が必要です。

- ・ ホームネットワークに接続されている配信先の機器(スマートフォンやSmartVision/PLAYERを搭載した別のパソコンなど)からのアクセスを許可します。
詳しくは「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」(📖「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94041319 で検索)の、「コンテンツをネットワーク上の機器から視聴する場合の注意事項」をご覧ください。

📌ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

- ・著作権保護コンテンツの配信をするためのライセンスを取得します。
詳しくは「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」(📺「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94041319で検索)の、「録画番組をホームネットワークを使って視聴する場合の注意事項」をご覧ください。

📌ポイント

すでにライセンスを取得しているときは、「ライセンスは有効です」といったメッセージが表示されます。この場合はライセンスを取得する必要はありません。

ホームネットダビング

■ ホームネットダビングとは

ホームネットワークに接続されたメディアサーバー(デジタル録画番組の配信に対応したレコーダーやハードディスクなど)に、パソコンで録画した番組をダビング(転送)する機能です。
転送された番組は、パソコンを起動していなくても、ホームネットワークに接続されたほかの映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)で視聴することができます。

■ 録画番組が転送できるメディアサーバーについて

対応しているメディアサーバーについて詳しくは、次のURLをご覧ください。

<http://121ware.com/catalog/nashddlist/>

なお、メディアサーバーの仕様や使い方などについては、メディアサーバーに添付されたマニュアルをご覧ください。

■ ホームネットダビングするときの注意点

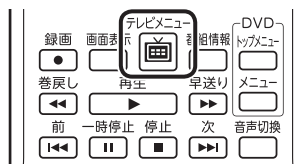
ホームネットダビングは、次の機能と同時に使用することはできません。

- ・光ディスクに録画番組を保存
- ・SDカードに録画番組を転送
- ・録画モードの変換
- ・光ディスクのフォーマット
- ・SDカードのフォーマット
- ・ホームネットワークを使った番組の配信

また、ホームネットダビング中の番組は、パソコンで再生したり削除することはできません。

■ ホームネットダビングする

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

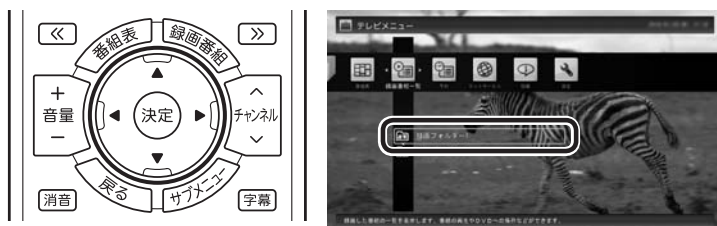


テレビメニューが表示されます。

📌ポイント

ホームネットダビングをご利用になるときは、あらかじめホームネットワークへの接続などの準備が必要です。詳しくは「ホームネットワークの準備について」(p.32)をご覧ください。

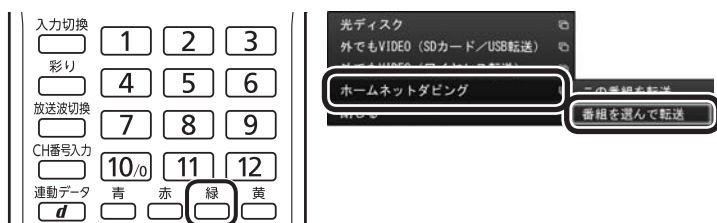
2 「録画番組一覧」の転送したい録画番組が保存されている録画フォルダーを選んで[決定]を押す



録画番組一覧が表示されます。メディアサーバーなどの機器に転送する番組のコピー制御(コピーできるかどうか)を確認してください。確認の方法について詳しくは、PART2の「コピーできる回数を確認するには」(p.93)をご覧ください。



3 転送する番組を選んで[緑]を押し、「ホームネットダビング」-「番組を選んで転送」を選んで[決定]を押す



複数の番組が選択できるようになります。

4 転送する番組を選んで【決定】を押す



選んだ番組にはチェックマークが付きます。手順4を繰り返して、転送したい番組にチェックマークを付けてください。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

5 【緑】を押す

転送する番組の一覧が表示されます。

6 「転送先」を選んで【決定】を押し、番組を転送したいメディアサーバーを選んで【決定】を押す



7 「転送開始」を選んで【決定】を押す



転送が始まり、画面にホームネットダビングを示すアイコンが表示されます。

ポイント

「まとめ表示」されているシリーズ番組を選ぶと、そのシリーズがすべて転送の対象になります。

ポイント

- 転送を取り消すときは、番組を選んで【赤】を押してください。
- 転送する番組を追加するときは、【青】を押して、手順4の画面に戻ってください。
- メディアサーバーを検索中は「転送先を検索しています」と表示されます。
- メディアサーバーによっては、空き領域の情報が取得できないことがあります。この場合は、空き領域に「不明」と表示されます。

ポイント

- デジタル録画番組を配信するためのライセンスの取得を促すメッセージが表示されたときは、「ホームネットダビングの準備」(p.34)をご覧ください。
- ムーブされる番組(コピーの残り回数が1回の番組)が含まれているときは、ムーブされる番組およびその番組と同じグループの番組の一覧(ハードディスクから削除される番組の一覧)が表示されます。番組名を確認し、「開始」を選んで【決定】を押してください。
- 次のようなネットワーク環境では、番組の転送に時間がかかることがあります。
 - ・ 複数のハブが直列に接続(多段接続)されている
 - ・ 10BASE-Tなど、通信速度の遅い機器が接続されている

8 「ホームネットダビングが完了しました。」と表示されたら、 [決定]を押す

ポイント

- メディアサーバーの空き領域が不足していたときは、転送できた番組とできなかった番組がそれぞれ一覧表示されます。
- メディアサーバーの空き容量が少ないと、転送する番組のデータがメディアサーバーの空き容量より小さくても転送に失敗することがあります。必要に応じて視聴済み番組などのメディアサーバーに保存されたデータを削除し、空き容量を増やしてください。メディアサーバーに転送した番組の削除については、「メディアサーバーに保存された番組を削除するには」(p.41)をご覧ください。

■ ホームネットダビング(番組の転送)に失敗する場合

録画の時間と転送の時間が重なると、転送に失敗することがあります。録画が終了してから転送をおこなってください。

また、次の場合は転送を完了できません。

- ・転送する番組のファイルサイズが、転送先に保存できる大きさを超えている
 - ・転送する番組の数が、転送先に保存できる番組の数を超えている
- このような場合は、録画モードを変換してファイルサイズを小さくしたり、転送済みの番組を削除して(番組の数を減らして)ください。

転送できる番組の大きさや数などの制限値については、転送先の機器のマニュアルをご覧ください。

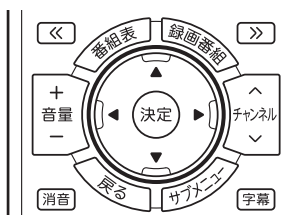
メディアサーバーに保存された番組を楽しむ

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す



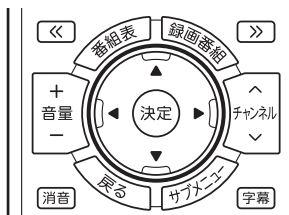
テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」を選ぶ



- 「録画番組一覧」を選んでから、ホームネットワーク上のメディアサーバーの検索が始まります。このため、メディアサーバーが見つかるまでに時間がかかることがあります。
- 検索中、以前接続したことがあるメディアサーバーは、「！」が付いた状態で表示されています。メディアサーバーが見つかると「！」が消えます。ホームネットワークから外されていたり、電源が入っていないメディアサーバーは「！」が付いたままとなります。

3 メディアサーバーを選んで【決定】を押す



- メディアサーバーは録画フォルダーの下に表示されます。アイコンはメディアサーバーによって異なります。
 - ホームネットワークを経由して番組の情報を取得するため、録画番組の一覧が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- メディアサーバーの「録画番組一覧」画面が表示されます。

ポイント

メディアサーバーがリモートパワーオン(Wake on LAN)機能に対応している場合は、電源が切れていたりスタンバイ状態で「！」が付いた状態であっても、メディアサーバーのアイコンを選択するだけでメディアサーバーを起動することができます。リモートパワーオンについて詳しくは「リモートパワーオン(Wake on LAN)機能を利用するための準備」(p.33)をご覧ください。

ポイント

【録画番組】を押して「録画番組一覧」を表示させ、画面左側でメディアサーバーを選ぶこともできます。

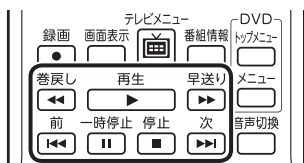
4 番組を選んで【決定】を押す

- ① リモコンの【<<】【>>】でジャンルを絞り込んで表示できます。
 ② 再生したい番組を選びます。



再生が始まります。

再生中は、このパソコンで録画した番組と同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。



- メディアサーバーから取得した情報によっては、録画番組のサムネイル(小さく表示されている画面)がテレビの映像ではなく、番組のジャンルを示すアイコンになることがあります。
- ホームネットワークをワイヤレスLANで接続している場合、電波環境によっては、番組の再生中に映像が乱れたり(コマ落ちなど)、音声途切れたりすることがあります。このような場合は、有線LAN(LANケーブル)で接続してください。
- メディアサーバーの状態などによって、番組が再生できないことがあります。メディアサーバーの状態や動作の制限事項などについては、ご使用になっているメディアサーバーの取扱説明書をご覧ください。
- メディアサーバーに保存された番組を再生しているとき、HDMI出力切り換えで画面を出力するディスプレイを切り換えると、再生が停止します。
- メディアサーバーに保存された番組は、光ディスクに保存したり、携帯電話に転送したり、編集したりすることはできません。

5 再生を終了するときは、【停止】を押す



メディアサーバーの「録画番組一覧」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

ポイント

- チャプタースキップはできません。リモコンの【前】を押すと30秒前から、【次】を押すと30秒後から再生されます。
- リモコンの【音声】で出力する音声を切り換えることができますが、このパソコンで録画した番組を再生するときとは動作が異なることがあります。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

■ メディアサーバーに保存された番組を削除するには

1 「メディアサーバーに保存された番組を楽しむ」(p.39)の手順1～手順3をおこなう

メディアサーバーの「録画番組一覧」が表示されます。

2 削除する番組を選ぶ

●番組をひとつだけ削除するときは

削除したい番組を選んで【赤】を押し、表示されたメニューで「この番組を削除」を選んで【決定】を押してください。

●複数の番組を削除するときは

【赤】を押し、表示されたメニューで「番組を選んで削除」を選んで【決定】を押します。

続けて削除したい番組を選んで【決定】を押して、チェックマークをつけてください。チェックマークを外すときはもう一度番組を選んで【決定】を押します。

番組を選び終わったら【赤】を押してください。

確認のメッセージが表示されます。

3 「はい」を選んで【決定】を押す

メディアサーバーから番組が削除されます。

ポイント

- メディアサーバーによっては、この操作で番組を削除できないものがあります。他の機器からの削除に対応しているかどうかはメディアサーバーのマニュアルなどでご確認ください。
- メディアサーバーがSmartVisionを搭載したパソコンの場合、この操作で番組を削除することはできません。

■ 映像をホームネットワークで配信する

録画した番組を、ホームネットワークに接続された映像機器(デジタル録画番組の配信に対応したテレビなど)*に配信することができます。

※対応している映像機器について詳しくは、次のURLをご覧ください。

(<http://121ware.com/navigate/products/pc/dlna/connect.pdf>)

■ ホームネットワークを使った録画番組の配信について

録画した番組を配信するときは、このパソコンがメディアサーバー(配信元のサーバー)として動作します。受信側の機器(ホームネットワークに接続された映像機器)では、それぞれに搭載されたアプリケーションを使って、このパソコンに保存された録画番組を再生することができます。

「番組をホームネットワークで配信する準備」(p.34)をご覧ください。このパソコンを配信元として使用するための設定(配信を許可する設定と配信先の登録)と、受信側の機器の設定(配信元(このパソコン)の登録など)を済ませてください。

なお、このパソコンがホームネットワークに接続されて電源が入っている状態であれば、SmartVisionが起動していなくても、受信側の機器で録画番組を再生して楽しむことができます。

チェック

簡易編集機能を使って編集した番組をホームネットワークで配信して再生すると、編集した部分の前後で、画面が一瞬黒くなったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 本編チャプターだけを配信したいときは

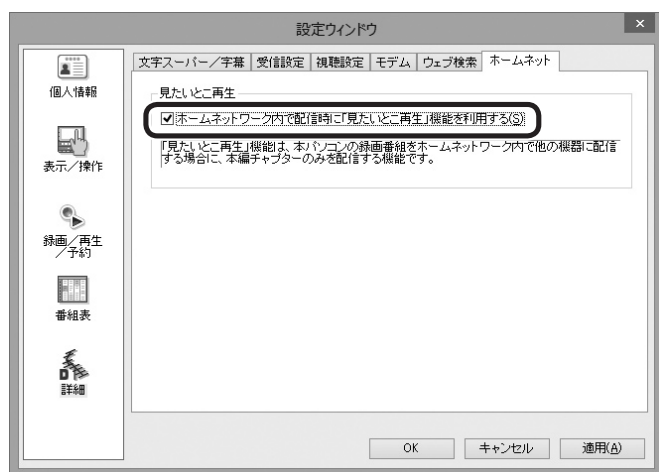
録画番組をほかの映像機器に配信するとき、「見たいとこ再生」機能を有効にして、本編チャプターだけを配信するように設定できます。

1 マウス操作専用モード(ノーマルモードまたはアドバンスモード)で (設定)をクリック

設定ウィンドウが表示されます。

2 左側の「詳細」をクリックし、「ホームネット」タブをクリック

3 「ホームネットワーク内で配信時に「見たいとこ再生」機能を利用する」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れる



4 「OK」をクリック

これで録画番組を配信するときの、「見たいとこ再生」機能が有効になりました。

ポイント

「見たいとこ再生」については、『テレビを楽しむ本 基本編』PART5の「オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいとこ再生」)」をご覧ください。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

SmartVision/PLAYERを 使ってテレビを楽しむ

「SmartVision/PLAYER」は、このパソコンをTVサーバー（メディアサーバー）として、テレビ機能がない別のパソコンでテレビ番組を楽しむためのアプリです。

SmartVision/PLAYERについて

「SmartVision/PLAYER」は、ホームネットワークに接続されたテレビの受信機能がないパソコンでテレビを楽しむためのアプリです。

このパソコンをTVサーバー（メディアサーバー）として使用するとき、搭載しているチューナー数によって、別のパソコンにインストールされた「SmartVision/PLAYER」で利用できる機能が異なります。

●地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

このパソコンで受信した放送中の番組を「SmartVision/PLAYER」で視聴することができます。このパソコンに保存されている録画番組を再生することもできます。

また、2013年夏モデル以前のNECパソコンに搭載されている「SmartVision/PLAYER」(Windowsストア アプリ版を除く)を使用すると、このパソコンで取得した番組表を確認したり、録画予約することもできます。

このパソコンが地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルの場合は、「SmartVision/PLAYER」から録画予約するとき、次の制限があります。

- ・ 確認および登録できる同じ時間帯の録画予約は2件までとなります。
- ・ 確認および登録できる録画予約の件数は最大で200件となります。

なお、「SmartVision/PLAYER」からは、このパソコンに登録されている録画予約の一部が確認できないことがあります。

●地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

このパソコンで録画した番組を「SmartVision/PLAYER」で再生することができます。

このパソコンをTVサーバー（メディアサーバー）として使用するとき、パソコンを起動してWindowsへサインインした状態にしてください。なお、SmartVisionを起動する必要はありません。

■ ホームネットワークの準備について

ホームネットワークを使って番組を配信するためには、ホームネットワークとの接続などの準備が必要です。配信するための準備については、「番組をホームネットワークで配信する準備」(p.34)をご覧ください。

！チェック

このパソコンにはSmartVision/PLAYERが搭載されていません。

■ リモートパワーオフ機能について

「SmartVision/PLAYER」には、リモートパワーオンとともにリモートパワーオフ機能が提供されています。

この機能は、メディアサーバーとして使用するパソコンが、地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのときに使用できます。

SmartVision/PLAYERを利用できるパソコンについて

「SmartVision/PLAYER」が搭載されているパソコンで利用できます。

「SmartVision/PLAYER」は、2012年夏モデル以降のLaVieシリーズ、VALUESTARシリーズの一部モデルに搭載されています。SmartVision/PLAYERの使い方については、SmartVision/PLAYERのヘルプをご覧ください。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

つぶやきプラスを活用する

ここでは、ツイッターを利用して、テレビをより楽しめる「つぶやきプラス」について説明します。

つぶやきプラスの主な機能

ここでは、つぶやきプラスで使う主な機能について説明します。

■ 視聴番組のツイートを表示する

つぶやきプラスでは、放送局ごとに設定されたハッシュタグを使って、今見ている番組に関連したツイートを抽出して表示します。さらに、任意のハッシュタグやキーワード、ツイッターIDをテーマタグとして追加することにより、目的に合った多くのツイートを表示させることができます。

詳しくは、「視聴番組のツイートを表示する」(p.55)をご覧ください。

ハッシュタグとは:

ツイート内容のキーワードや、要約した言葉の頭に「#」をつけた文字列です。ツイートの文中で、文字列の前後に半角スペースを入れることで、ハッシュタグとして認識されます。

■ 裏番組に関連するツイートを表示する

視聴可能なチャンネルごとに、最新のツイートを表示します。また、チャンネルごとのツイート数をバーで表示する「つぶやきメーター」機能で、今一番ツイートされている番組がわかります。

詳しくは、「裏番組のツイートを表示する」(p.59)をご覧ください。

■ つぶやきシーン検索

番組を録画するとき、その放送局に関連するツイートや、指定したテーマタグのツイートが同時に保存されるように設定できます。

つぶやきシーン検索では、キーワードを入力して録画した番組に保存されたツイートを検索できます。また、検索結果のツイートをダブルクリックすることで、ツイートされたシーンが再生されます。

詳しくは、「ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける(つぶやきシーン検索)」(p.60)をご覧ください。

■ リモート録画予約

外出先などから、つぶやきプラスにユーザー登録したツイッターIDで録画の内容をツイートしたり、ユーザー登録したツイッターID宛てに録画の内容をダイレクトメッセージで送ると、番組の録画予約ができます。

詳しくは、「ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)」(p.65)をご覧ください。

ポイント

ツイッターのサービス、用語について詳しくは、ツイッターの公式サイトのヘルプなどをご覧ください。

ダイレクトメッセージとは:

フォローしている人同士でのみ、やりとりができるメッセージのサービスです。メッセージの内容は、送った人と送り先の相手のみが見ることができます。

■ ツイッターの標準機能を使う

ツイッターの標準機能を使うことができます。

● ツイートする

ツイートとは、ツイッターの投稿、または投稿することで、「つぶやき」ともいいます。1ツイートの文字数は140文字以内です。つぶやきプラスでは、テレビを見ながらツイートすることができます。

詳しくは、「テレビを見ながらツイートを投稿する」(p.63)をご覧ください。

● 返信(リプライ)する

返信とは、特定の相手に対して投稿するツイートのことです。その相手のタイムラインと、その相手と自分(返信を送られた側と送った側)を両方フォローしている人のタイムラインにツイートが表示されます。ツイートの先頭に「@」に続けて相手のツイッターIDを入れて、半角スペースを空けて文章を書きます。

つぶやきプラスでは、自動的に「@」と「相手のツイッターID」、「: 本文」が入力エリアに入ります。詳しくは、「ツイートに返信する」(p.63)をご覧ください。

タイムラインとは:

自分のツイートやフォローしている人のツイートが新しいものから表示される一覧のことです。

フォローとは:

特定の相手のツイートが自分のタイムラインに表示されるよう、その相手を登録することです。

● リツイートする

リツイートとは、ほかの人が投稿したツイートを、自分をフォローしている人のタイムラインに表示させる機能です。

つぶやきプラスで、視聴中の番組の最新情報などを見つけたら、フォローしているみんなのタイムラインに表示させることができます。

詳しくは、「リツイートする」(p.64)をご覧ください。

● お気に入りに登録する

お気に入りとは、気に入ったツイートを登録しておく機能です。お気に入りに登録したツイートは、後でまとめて読み返すことができます。

つぶやきプラスで視聴者プレゼントのツイートなど、後で読み返したいツイートをお気に入りに登録しましょう。

詳しくは、「ツイートをお気に入りに登録する」(p.64)をご覧ください。

つぶやきプラスを使う前の準備

つぶやきプラスを利用するときは、ツイッター ID(ツイッターのアカウント)をつぶやきプラスに登録してください。

■ はじめてつぶやきプラスを起動したときは

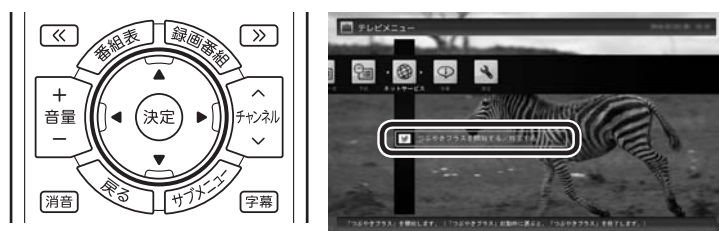
ここでは、つぶやきプラスの初期設定について説明します。はじめてつぶやきプラスを起動したときは、この説明にしたがって、つぶやきプラスにツイッター ID を登録してください。

ツイッター ID をお持ちでない場合は、操作の途中でツイッター ID を取得していただく必要があります。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「 つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで【決定】を押す



「つぶやきプラスの初期設定」が起動し、つぶやきプラスでできることが表示されます。以降の操作はマウスでおこないます。

3 記載内容を確認し、「次へ」をクリック

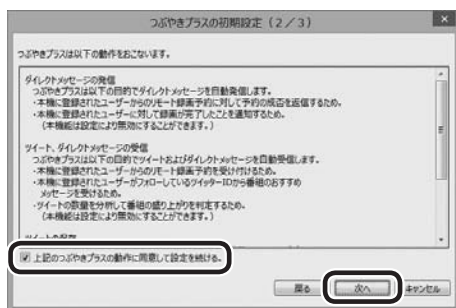


つぶやきプラスの動作についての確認画面が表示されます。

ポイント

つぶやきプラスはツイッターの機能を利用しているため、ツイッターの仕様に変更があったときは、使用する際の条件が変更になったり、一部の機能が使えなくなることがあります。

4 記載内容を確認し、同意する場合は下段のチェックボックスにチェックを入れて、「次へ」をクリック



ツイッター IDの登録画面が表示されます。

ツイッター IDをお持ちでない場合:

つぶやきプラスを使うときはツイッター IDが必要です。手順5に進んでツイッター IDを取得してください。

すでにツイッター IDをお持ちの場合:

そのまま手順6に進んでください。

5 「ツイッターのホームページを開く」をクリック



ツイッターのホームページが表示されます。ホームページの画面の指示にしたがって、名前、ユーザー名、パスワード、メールアドレスを入力します。

ホームページでの操作は、マウスとキーボードでおこないます。

取得が終わったら、**x** をクリックしてホームページの画面を閉じます。

ポイント

ここで登録するユーザー名とパスワードは、つぶやきプラスにツイッター IDを登録する際に使います。

6 「登録開始」をクリック

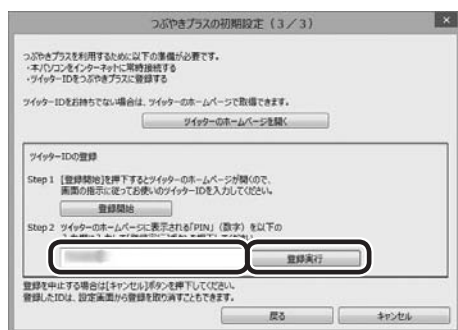


ツイッターのホームページ(連携アプリ認証画面)が表示されるので、ツイッター ID(ユーザー名)とパスワードを入力します。

7 「連携アプリを認証」をクリック

ツイッターのホームページに、PIN(数字)が表示されます。

8 表示されたPIN(数字)をツイッター ID登録画面の入力欄に入力して、「登録実行」をクリック



「登録しました」というメッセージが表示されます。

9 「OK」をクリック

これでつぶやきプラスの初期設定は完了です。
登録が終わったら、**[x]**をクリックしてホームページの画面を閉じます。

■ ツイッター IDを追加登録する

つぶやきプラスには、複数のツイッター IDを登録することができます。

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック



ユーザー設定画面が表示されます。

ポイント

複数のツイッター IDを登録することもできます。詳しくは次の「ツイッター IDを追加登録する」をご覧ください。

チェック

ツイッターのホームページを開いている場合は、画面を閉じてから登録をおこなってください。

2 「登録」をクリック



ツイッター ID登録画面が表示されます。

3 「登録開始」をクリック



ツイッターのホームページ(連携アプリ認証画面)が表示されるので、ツイッター ID(ユーザー名)とパスワードを入力します。

4 「連携アプリを認証」をクリック

ツイッターのホームページに、PIN(数字)が表示されます。

5 表示されたPIN(数字)をツイッター ID登録画面の入力欄に入力して、「登録実行」をクリック



「登録しました」というメッセージが表示されます。

6 「OK」をクリック

7 「閉じる」をクリック

これで、つぶやきプラスにツイッター IDを登録できました。
登録が終わったら、 をクリックしてホームページの画面を閉じます。

■ 登録したツイッター IDを削除する

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック



ユーザー設定画面が表示されます。

2 削除するツイッター IDを選んで「削除」をクリック

確認のメッセージが表示されます。

3 「OK」をクリック

つぶやきプラスからツイッター IDが削除されました。
すべてのツイッター IDを削除しようとする、確認のメッセージが表示されます。

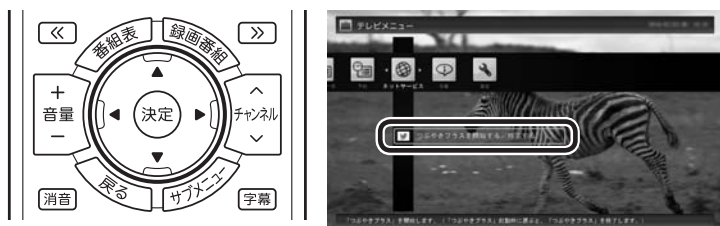
つぶやきプラスを利用するにはツイッター IDが必要です。このため、ツイッター IDをすべて削除したときは、つぶやきプラスが自動的に終了します。また、次につぶやきプラスを起動したときには、「つぶやきプラスの初期設定」が表示されます。

■ つぶやきプラスを起動する

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「 つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで[決定]を押す



つぶやきプラスのツイート表示画面、ツイート投稿画面が表示されます。



ツイート投稿画面: 自分のツイートを
入力します。

ツイート表示画面:
番組に関連したツイ
ートやおすすめ番組
のダイレクトメッセ
ージが表示されます。

ポイント

- つぶやきプラスをはじめて起動したときは、「つぶやきプラスの初期設定」が起動します。「はじめてつぶやきプラスを起動したときは」(p.47)をご覧ください、設定をおこなってください。
- ツイートするときや設定の変更などをするときは、マウスやキーボードを使って操作してください。

■ ツイッター IDを切り換える

つぶやきプラスには複数のツイッター IDを登録することができます。必要に応じてツイッター IDを切り換えてください。

1 ツイート投稿画面のツイッター IDをクリック

登録されているツイッター IDの一覧が表示されます。



2 切り換えるツイッター IDをクリック

ツイッター IDが切り換わります。

なお、ここで機能の「ロック」に関するメッセージが表示されたときは、内容を確認して「OK」をクリックしてください。ロックについては、次の「ツイッター IDをロックする」をご覧ください。

■ つぶやきプラスを終了する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「ネットサービス」の「つぶやきプラスを開始する／終了する」を選んで【決定】を押す

つぶやきプラスが終了します。



ツイート表示画面右上のをクリックして終了させることもできます。

ツイッター IDをロックする

ツイッター IDを選び、ツイートなどの機能をロック(禁止)することができます。

次の機能をロックできます。

- ・ ツイートする
- ・ 返信(リプライ)する
- ・ リツイートする
- ・ お気に入りに登録する
- ・ お気に入りを読む
- ・ おすすめ番組を利用する

■ ロック用のパスワードの設定

ロックの機能を使うときは、あらかじめツイッター IDごとにロック用のパスワードを設定しておく必要があります。

パスワードはロックを解除する際に入力します。また、このパスワードを設定していないと、ロックするためのボタンが表示されません。

ロック用のパスワードの設定について詳しくは、このPARTの「ロック用のパスワードを設定する」(p.67)をご覧ください。

■ ロックするときは

1 「ツイッター IDを切り換える」(p.52)の操作で、ロックするツイッター IDを選ぶ

2 ツイッター IDの下に表示された「ロック」をクリック



ロックしたことを知らせるメッセージが表示されます。

3 「OK」をクリック



選択したツイッター IDでの操作がロックされました。

■ ロックを解除するときは

1 「ツイッター IDを切り換える」(p.52)の操作で、ロックされているツイッター IDを選ぶ

2 ツイッター IDの下に表示された「ロック」をクリック

パスワードの入力を促すメッセージが表示されます。

3 キーボードでパスワードを入力し、「OK」をクリック

ロックが解除されたことを知らせるメッセージが表示されます。

4 「OK」をクリック

ポイント

ロック用のパスワード(p.67)が設定されていないツイッター IDには、「ロック」が表示されません。

ポイント

ロックされている機能を使おうとすると、「この機能はロックされています」というメッセージが表示されます。

ポイント

ロックの状態は他の操作をおこなっても保持されます。たとえば、ロックを解除してつぶやきプラスを終了した場合は、次につぶやきプラスを起動したときもロックは解除されたままです。また、ロックを解除して別のツイッター IDに切り換え、またもとのツイッター IDに戻したときも、ロックは解除されたままです。

視聴番組のツイートを表示する

視聴中の番組に関連したツイートが表示されます。番組の進行にあわせて自動更新されます。また、タイムシフト再生時や録画再生時には、再生中の番組が放送された時間に投稿されたツイートを読むことができます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。



- ① チャンネルタグ(視聴中の放送局のハッシュタグ)が表示されます。放送局によってはふたつのチャンネルタグが表示されることがあります。
- ② テーマタグ(キーワードやハッシュタグ)を入力してツイートを検索し、一致したツイートを追加して表示できます。詳しくは、「テーマタグに一致したツイートを追加表示する」(p.56)をご覧ください。
- ③ ツイートが表示されます。右側のスクロールバーで画面をスクロールすることができます。
録画番組を再生しているときなどに、ツイートをダブルクリックするとツイートが投稿されたときのシーンに移動できます。詳しくは「ツイートが投稿されたときのシーンに移動する」(p.56)をご覧ください。

チェック

視聴中の放送局にハッシュタグが設定されていない場合は、ツイートが表示されません。
ハッシュタグの設定について詳しくは、「ハッシュタグを設定する(チャンネルタグ1)」(p.70)をご覧ください。

ポイント

録画再生時にツイートを表示するには、「録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する」(p.69)でツイートを保存する設定をおこなってください。

ポイント

チャンネルタグやテーマタグの左側のアイコンをクリックしてにすると、それぞれのタグを無効にすることができます。なお、両方のタグを無効にしたり、テーマタグになにも入力されていないときにチャンネルタグを無効にすると、ツイートが表示されなくなります。また、どちらか一方のタグを無効にしたとき、もう一方のタグに関連したツイートの取得状況によっては、ツイートが表示されないことがあります。

ポイント

ツイートを並び、その相手に返信(リプライ)することができます。詳しくは「ツイートに返信する」(p.63)をご覧ください。

■ ツイートが投稿されたときのシーンに移動する

放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや録画番組を再生しているときは、表示されているツイートをダブルクリックすると、そのツイートが投稿されたときのシーンに移動できます。ドラマの出演者名や旅番組の観光地名などのツイートから、気になるシーンを見つけることができます。

■ テーマタグに一致したツイートを追加表示する

テーマタグとは、ツイートの検索用として追加で設定できるハッシュタグやキーワード、ツイッターIDのことです。視聴中のチャンネルに関するツイートとは直接関係ない話題についても、自由に設定することができます。

テーマタグ入力欄にテーマタグを追加すると、視聴中のチャンネルに関するツイート(チャンネルタグによって検索されたツイート)と、テーマタグによって検索されたツイートが同時に表示されます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 「テーマタグ」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードやハッシュタグを入力する

3 [Enter]を押す

視聴中の番組に関連したツイート(チャンネルタグに対応したツイート)に加えて、入力したキーワードまたはハッシュタグが含まれたツイートが表示されます。

● ツイートからテーマタグを入力する

選択したツイートに含まれるハッシュタグや、ツイートしたユーザーのツイッターIDを、テーマタグとして入力することができます。

1 視聴番組のツイート画面が表示されているとき、次のいずれかのツイートを右クリック

- ・テーマタグに入力したいハッシュタグが含まれているツイート
- ・テーマタグに入力したいユーザーのツイート

2 表示されたサブメニューで「テーマタグを選択」をクリックし、テーマタグに入力したいハッシュタグまたはツイッターID(@なし)をクリック

「テーマタグ」をクリックしたハッシュタグまたはツイッターIDが入力されます。

● 録画用のテーマタグを設定する

放送中の番組を視聴しているときは、「履歴」に残っているテーマタグから、録画用のテーマタグを選択することができます。録画用のテーマタグがついたツイートは、録画するとき、チャンネルタグがついたツイートとともに保存されます。

！チェック

録画再生時は、テーマタグに新しいキーワードやハッシュタグを追加することはできません。

📌ポイント

- 半角スペースを入れて、複数のキーワードやハッシュタグを指定することもできます。この場合は、いずれかのキーワードまたはハッシュタグを含むツイートが検索対象になります(OR検索)。
- 「履歴」をクリックするといままでに入力したキーワードやハッシュタグの一覧が表示されます。表示されたキーワードやハッシュタグをダブルクリックして、「テーマタグ」の入力欄に追加できます。
- テーマタグはチャンネルを切り換えてもそのまま残ります。消去するときは「クリア」をクリックしてください。
- テーマタグ入力欄に「#」以外の記号を入力すると、ツイートを正しく取得できない場合があります。

1 視聴番組のツイート画面が表示されているとき、「履歴」をクリック

履歴の一覧が表示されます。

2 録画用に指定したいテーマタグをクリック

テーマタグの左側に赤い○が表示されます。

3 テーマタグの左側の○をクリック

○が●に切り換わります。必要に応じてこの操作を繰り返し、ほかの録画用のテーマタグを指定してください。

ポイント

左側に赤い●が表示されているのが録画用のテーマタグです。

ポイント

「履歴」に適切なテーマタグが残っていないときは、「テーマタグに一致したツイートを追加表示する」(p.56)の操作でテーマタグを入力してください。

ポイント

- 録画用のテーマタグを解除するときは、●をクリックして○にしてください。
- 手順2の操作で、テーマタグの右側にはゴミ箱のアイコンが表示されます。これをクリックすると履歴の一覧からテーマタグを削除することができます。
- 録画用のテーマタグは複数指定することができますが、登録できるタグの文字数の合計は140文字までです。

■ 視聴中の番組のツイートを検索する

キーワードを入力して、視聴している番組のツイートを検索することができます。

放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや、録画した番組を再生しているときは、検索したツイートが投稿されたシーンに移動して視聴することができます。

1 「視聴番組のツイート」タブをクリック

視聴番組のツイート画面が表示されます。

2 「キーワード検索」をクリック



ツイートの一覧の下に、「キーワード」の入力欄が表示されます。

3 「キーワード」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワードを入力して[Enter]を押す



4 「上に検索」または「下に検索」をクリック

いま選択されているツイートの上(投稿が新しい)または下(投稿が古い)にあるツイートが検索され、表示されます。



放送中の番組をタイムシフトモードで視聴しているときや、録画した番組を再生しているときは、検索されたツイートをダブルクリックすると、そのツイートが投稿されたシーンに移動して視聴することができます。

5 「検索終了」をクリック

「キーワード」の入力欄が閉じます。

ポイント

半角スペースで区切って複数のキーワードを入力することもできます。この場合は、いずれかのキーワードを含むツイートが検索対象となります(OR検索)。

ポイント

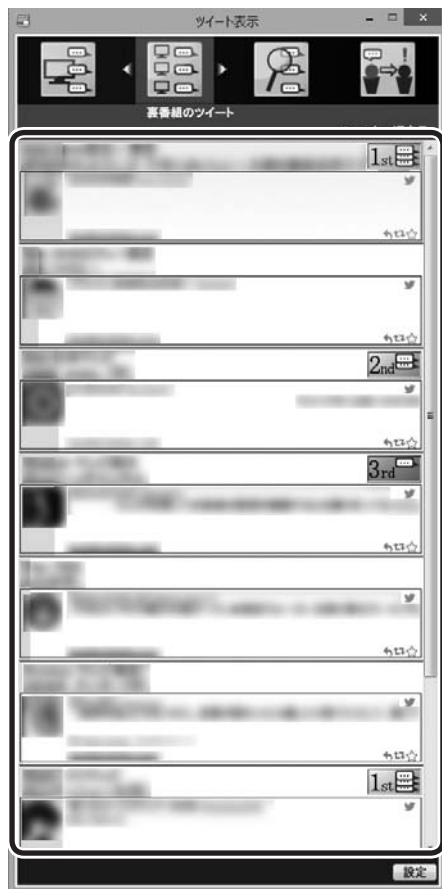
入力したキーワードに一致するツイートが見つからなかったときは、「ツイートが見つかりませんでした」と表示されます。必要に応じて、別のキーワードを入力して検索しなおしてください。

裏番組のツイートを表示する

視聴可能なチャンネルごとに、最新のツイートを表示します。ツイートを選択するとそのチャンネルに切り換えることができます。

1 「裏番組のツイート」タブをクリック

裏番組も含めたツイートの画面が表示されます。



ツイートを選んでダブルクリックすると、そのツイートに関連するチャンネルに切り換わります。

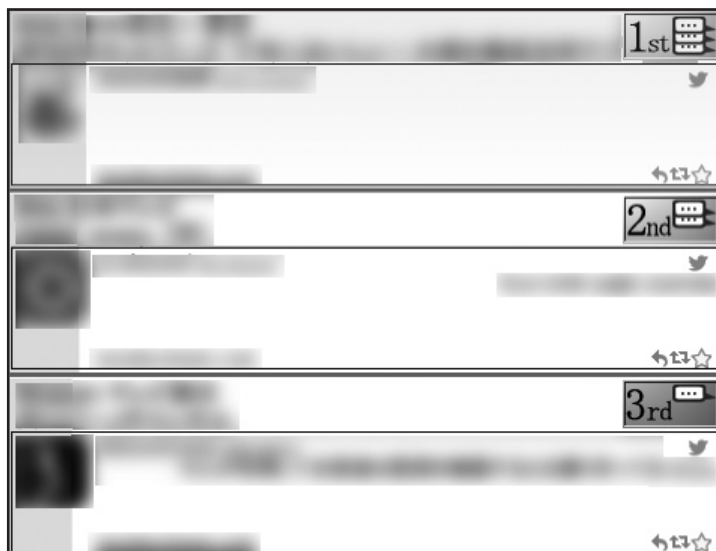
ポイント

- 視聴している放送波の裏番組（例：地上デジタル視聴中は地上デジタルの裏番組）のみを表示します。
- 録画番組を再生しているときには「裏番組のツイート」タブが選択できません。
- ハッシュタグが設定されていない放送局では、ハッシュタグが未設定であることが表示されます。
- 「裏番組のツイート」タブを表示しているとき、ほかのアプリを起動すると、テレビの映像が乱れることがあります。

■ 話題の裏番組をチェックする(つぶやきメーター)

それぞれのツイートの背景に、その放送局に対するツイートの数
を示すバーが表示されます。

これを「つぶやきメーター」と呼びます。



バーが長いほどたくさんのツイートが投稿されています。
「つぶやきメーター」で話題の裏番組をチェックしましょう。

ポイント

- 5分ごとに最大200のツイート
を取得し、放送局ごとのツイ
ートをカウントしてバーを表示
します。
- ツイートの数が多い順に、1位か
ら3位までの順位を表すアイコ
ン(1st、2nd、3rd)が表示され
ます。
- ツイートが100件でバーが最長
(右端に到達)となります。もし
100件を超えた場合でも、バー
の長さはそれ以上変化しません。
- チャンネルタグの設定(p.70)
で「チャンネルタグ2」を設定し
たときは、タグ1(チャンネルタ
グ1)のツイート数が緑色のバー
で、タグ2(チャンネルタグ2)の
ツイート数がピンク色のバーで、
それぞれ表示されます。

■ ツイートを検索してお目当てのシーンを見つける(つぶやきシーン検索)

すべての録画番組からツイートを検索して、そのツイートが投稿
されたシーンを再生することができます。たくさんの録画番組か
らお目当てのシーンを探すとき便利です。

■ 録画された番組のツイートを検索する

番組を録画するとき、その番組に投稿されたツイートも同時に保
存するように設定できます。

キーワードを入力して、録画番組に関するツイートを検索できま
す。また、検索したツイートが投稿されたときのシーンから、該当
する番組を再生することができます。

1 「つぶやきシーン検索」タブをクリック

2 「キーワード」の入力欄をクリックし、キーボードでキーワ ードを入力して[Enter]を押す



ポイント

録画する番組に関するツイートを
保存するときは、「録画時のツイ
ート保存、リモート録画予約、ツイ
ートの表示方法について設定する」
(p.69)でツイートを保存する設定
をおこなってください。

ポイント

- 半角スペースで区切って複数の
キーワードを入力することもで
きます。この場合は、すべての
キーワードを含むツイートが検
索対象となります(AND検索)。
- 「絞り込み」をクリックすると、
より詳細な条件(録画番組、録画
日、ジャンル)を追加設定するこ
とができます。

3 「検索」をクリック

キーワードが含まれるツイートが番組ごとに表示されます。



4 目的のツイートをダブルクリックする

そのツイートが投稿されたときのシーンから、録画番組の再生が始まります。

■ 特定のツイートを非表示にする

ツイッター ID やキーワードを指定して、ツイートが表示されないように設定することができます。

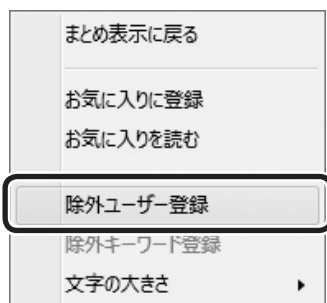
■ ツイッター ID を指定してツイートを非表示にする

ここでは「つぶやきシーン検索」タブでの操作を例に説明します。

1 「録画された番組のツイートを検索する」(p.60)の手順1～3の操作をおこなう

検索されたツイートが表示されます。

2 表示させたくないツイッター ID のツイートを右クリックし、表示されたメニューで「除外ユーザー登録」をクリック



3 「OK」をクリック

指定したツイッター ID のツイートが非表示になります。

ここで指定したツイッター ID は「設定」画面の「除外登録」タブ (p.71) に追加され、「つぶやきシーン検索」タブ以外のタブにも表示されなくなります。

👉 ポイント

- 検索されたツイートがひとつの番組に複数あるときは、番組ごとにまとめて表示されます。右端の▼をクリックすると個々のツイートが表示されます。まとめた状態に戻したいときは、▲をクリックするか、右クリックして表示されたメニューで「まとめ表示に戻る」をクリックしてください。
- キーワードをクリアするときは「クリア」をクリックしてください。

👉 ポイント

- 「視聴番組のツイート」タブでも、同様の操作で指定したツイッター ID のツイートを非表示にすることができます。
- 「設定」画面の「除外登録」タブでも、特定のツイッター ID のツイートを非表示にするよう設定 (除外ユーザー登録) することができます (p.71)。

■ キーワードを指定してツイートを非表示にする

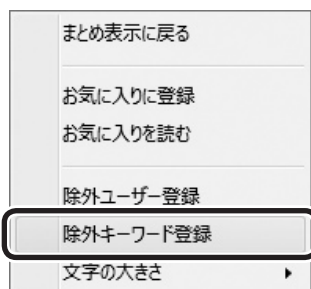
ここでは「つぶやきシーン検索」タブでの操作を例に説明します。

1 「録画された番組のツイートを検索する」(p.60)の手順1～3の操作をおこなう

検索されたツイートが表示されます。

2 キーワードとして指定する文字列をドラッグして選ぶ

3 選択した文字列を右クリックし、表示されたメニューで「除外キーワード登録」をクリック



4 「OK」をクリック

指定したキーワードが含まれるツイートが非表示になります。

ここで指定したキーワードは「設定」画面の「除外登録」タブ(p.71)に追加され、「つぶやきシーン検索」タブ以外のタブにも表示されなくなります。

ポイント

- 「視聴番組のツイート」タブでも、同様の操作で指定したキーワードが含まれるツイートを非表示にすることができます。
- 「設定」画面の「除外登録」タブでも、特定のキーワードが含まれるツイートを非表示にするよう設定(除外キーワード登録)することができます(p.71)。

■ おすすめ番組を利用して録画予約する

つぶやきプラスに登録したツイッターIDに対して送られたおすすめ番組のダイレクトメッセージを、時系列に並べて表示します。

- ダイレクトメッセージを選択すると、記載されているおすすめ番組を検索し、そのまま録画予約できます。
- おすすめ番組のダイレクトメッセージとは、リモート録画予約(p.65)と同じ書式で、ほかのツイッターIDからつぶやきプラスに登録しているツイッターID宛てに送信されたダイレクトメッセージのことです。

1 「おすすめ番組」タブをクリック

おすすめ番組のダイレクトメッセージが表示されます。

ポイント

「ツイート／ダイレクトメッセージを取得できませんでした。ツイッターが混雑しているなどの問題が考えられます。」といったメッセージが表示されたときは、15分ほど時間をおいてからあらためて「おすすめ番組」タブをクリックしてください。

2 ダイレクトメッセージを選んでダブルクリック

おすすめ番組リストが表示されます。

3 録画予約したい番組をクリックし、「決定」をクリック



4 予約内容を設定し、「はい」をクリック

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

5 「閉じる」をクリック

録画予約の画面が表示されたダイレクトメッセージは、背景の色が変更されます。また、SmartVisionを終了したときに削除されます。

！チェック

おすすめ番組のダイレクトメッセージは、録画予約しない場合、送られた日を含め8日間表示されます。

👉ポイント

予約内容の設定などについては、『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「おてがる予約をする」の手順4(予約内容を設定する)も合わせてご覧ください。

■ テレビを見ながらツイートを投稿する

1 ツイート入力欄をクリックして、キーボードでツイートを 入力する



視聴中の放送局のハッシュタグは自動で入力されます。

2 入力が終わったら、「ツイートする」をクリック

ツイートが投稿されます。

■ ツイートに返信する

表示されているツイートを選び、その相手に返信(リプライ)することができます。

1 返信したいツイートの👤をクリック

ツイート投稿画面のツイート入力欄に、選択したツイートの内容が、次の書式で入力されます。

@相手のツイッター ID: ツイート本文

2 ツイートを編集し、「ツイートする」をクリック

返信のツイートが投稿されます。

！チェック

ツイッター IDを切り換えるときは、このPARTの「ツイッター IDを切り換える」(p.52)をご覧ください。

👉ポイント

- あと何文字入力できるかは、「ツイートする」の右側に表示されます。
- 視聴番組のツイートを表示している状態で「テーマタグ」が入力されているときは、放送局のハッシュタグとともに、テーマタグも自動入力されます。

！チェック

ツイート入力欄の「@相手のツイッター ID:」を削除して投稿したときは、相手への返信ではなく通常のツイートとして投稿されます。ご注意ください。

■ リツイートする

選択したツイートをリツイートすることができます。

1 リツイートしたいツイートのをクリック

リツイートするかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「OK」をクリック

これで選んだツイートがリツイートされました。

■ ツイートをお気に入りに登録する

気に入ったツイートをお気に入りに登録することができます。お気に入りに登録したツイートは、後で読み返すことができます。

1 お気に入りに登録したいツイートのをクリック

お気に入りに登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。

2 「OK」をクリック

これで選んだツイートがお気に入りに登録されました。

■ 登録されたお気に入りを読む

登録されたお気に入りを読み返すときは、右クリックして表示されたメニューで「お気に入りを読む」をクリックしてください。

お気に入りはツイッターのホームページに表示されます。ツイッターのホームページにツイッターID(ユーザー名)とパスワードの入力欄が表示されたときは、画面のメッセージにしたがって操作してください。

■ 文字のサイズを変更する

表示されるツイートの文字のサイズを設定できます。

1 ツイート表示画面でツイートまたはダイレクトメッセージを選択し、右クリック

サブメニューが表示されます。

2 「文字の大きさ」をクリックし、文字サイズを選んでクリック

ポイント

お気に入りに登録したいツイートを右クリックし、表示されたメニューで「お気に入りに登録」をクリックしてお気に入りに登録することもできます。

ツイッターを使って外出先などから録画予約する(リモート録画予約)

つばやきプラスでは、ツイッターを使って録画予約をすることができます。

スマートデバイスなどを使って外出先から録画予約できるこの機能を「リモート録画予約」といいます。

■ 番組の録画予約をする

次の操作で番組の録画予約ができます。

- ・つばやきプラスに登録したツイッター IDで録画の内容をツイートする
- ・つばやきプラスに登録したツイッター IDから、同じツイッター ID (自身)宛てにダイレクトメッセージで録画の内容を送る

いずれも決まった書式で録画の内容を入力する必要があります。

■ 録画予約するときの書式について

次のどちらかの基本書式で入力してください。基本書式は省略できません。すべての項目を入力してください。

基本書式1: 番組名のみを指定するシンプルな書式です。

録画「X X」

番組名

基本書式2: 番組名がわからないときは放送日時とチャンネルを指定します。

録画 △ 日「2014/05/11」 △ 時「19:00」 △ 「地デジ△011」

日付

開始時刻

放送局

※: △は半角スペースもしくは全角スペースを表しています。

基本書式に画質や予約優先度などの情報を追加することもできます。

追加例:

録画「X X」 △ 時「19:00」 △ 画質「ファイン」 △ 優先「高」

番組名

開始時刻

画質

予約優先度

項目	入力する書式	
	録画	録画予約の場合は、必ず先頭に「録画」と入力します。
番組名	「」内に番組名を入力 (取得した番組表に掲載されている番組名と同じ番組名を入力した場合、ほかの情報の入力は不要)	・ 番組名を入力する場合は、必ず「録画」の次に入力します。 ・ 日付、開始時刻、放送局(放送波名 チャンネル番号)が正しく入力されていれば、番組名が省略されていても録画予約されます。
日付	日「yyyy/mm/dd」 日「yyyy年mm月dd日」 ("日"に続き、「」内に録画する日付を入力)	・ yyyy→yy, mm→m, dd→dで入力することも可能です。
開始時刻	時「hh:mm」 時「hh時mm分」 ("時"に続き、「」内に番組開始時刻を入力)	・ 番組の開始時刻を入力してください。 ・ 時刻(hh)は24時間表示で入力します。
画質	画質「ダイレクト」 画質「ファイン」 画質「ファインロング」 画質「セミファインロング」 画質「ロング」 画質「スーパーロング」※1 ("画質"に続き「」内に録画モードを入力)	・ 画質は必ず全角で入力してください。 ・ 入力した画質で録画が予約されます。 ・ 入力を省略した場合は、あらかじめ設定されている画質で録画されます。あらかじめ設定されている画質については、「録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする」(p.68)をご覧ください。
放送局	「地デジ XXX」 「BS XXX」 「CS XXX」 (XXXの部分にチャンネル番号(リモコン番号もしくは3桁番号)を入力)	・ 放送波(地デジ、BS、CS)は必ず入力してください。 ・ チャンネル番号(XXXの部分)は省略できます。 ・ 放送波名とチャンネル番号の間にはスペース(半角もしくは全角)を入力してください。

ポイント

- リモート録画予約として送ったダイレクトメッセージやツイートは、送った日を含め8日間有効です。
- あらかじめリモート録画予約の受け付け設定(p.69)を有効にしてください。

項目	入力する書式	
予約優先度	優先「高」	・ 予約優先度を入力すると、ほかの予約と重複している場合でも優先的に予約され、代わりに重複していた予約が削除されます(ただし、優先度を上げても、必ず予約できるとはかぎりません)。 ・ 入力を省略した場合は、おまかせ録画／新番組おまかせ録画／おまかせタフ録りよりは優先度が高くなりますが、ほかの予約よりは低くなります。

※1:地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルで対応

※録画予約をするには、下記のAとBのどちらかを入力する必要があります。

A.録画と番組名

B.録画と日付、開始時刻、放送局(放送波とチャンネル番号)

録画予約が登録されると、投稿したツイッター IDへ予約したことを通知するダイレクトメッセージが送られます。

予約時間の重複や、番組が存在しないなどの理由で録画予約ができなかった場合も、理由とともにダイレクトメッセージで通知します。また、録画が完了したことも、ダイレクトメッセージで通知します。

ダイレクトメッセージによる通知の設定は、ツイッター IDごとに設定できます。詳しくは「録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする」(p.68)をご覧ください。

■ リモート録画予約の注意事項

- パソコンが起動しているとき、リモート録画予約を受信してから予約が登録されるまで最大で約5分かかります。このため、番組の開始時刻がリモート録画予約を送信した時刻に近いとき、予約できないことがあります。
- リモート録画予約を受け付ける時刻の設定(p.69)でパソコンを自動起動させているときは、パソコンが起動する時間に加え、上で説明しているリモート録画予約を登録する時間が必要になります。このため、番組の開始時刻がパソコンを自動起動させる時刻に近いとき、予約できないことがあります。

ポイント

SmartVisionがツイートを取得して録画予約が登録されると、該当するツイートとダイレクトメッセージは自動的に削除されます。

ツイートの多い番組をお知らせする機能について(盛り上がり通知)

つぶやきプラスには、ツイッターのサーバーに定期的にアクセスして投稿内容を分析し、盛り上がっている番組(ツイートの投稿数が多い番組)があるときは、メッセージを表示してお知らせする機能があります。これを「盛り上がり通知」と呼びます。

■ スタート画面にメッセージ(トースト)が表示されたときは

クリックするとテレビ(SmartVision)が起動して、表示された番組を視聴できます。



チェック

- この機能を使うかどうか、また通知する際の基準などについて、設定を変更することができます。詳しくはこのPARTの「盛り上がり通知を設定する」(p.72)をご覧ください。
- SmartVisionが起動していないときも話題の番組をチェックすることができます。

■ デスクトップにメッセージが表示されたときは

表示された番組を視聴するときは、「視聴する」をクリックしてください。



👉 ポイント

- SmartVisionが起動していないときは自動的に起動します。
- 「盛り上がり通知」のトーストやメッセージは、数秒間表示されたあと、自動的に消えます。

📌 一歩すすんだつぶやきプラスの設定

■ ロック用のパスワードを設定する

ツイッターIDごとに、ツイートなどの機能をロック(禁止)するためのパスワードが設定できます。

- 1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック
- 2 パスワードを設定したいツイッターIDをクリックし、「詳細設定」をクリック



- 3 設定するパスワードを、パスワード入力欄と確認用のパスワード入力欄に入力



- 4 「OK」をクリック

👉 ポイント

すでにパスワードが設定されているときは、パスワードの入力を促すメッセージが表示されます。パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。

👉 ポイント

ロック用のパスワードは「詳細設定」を保護するためのパスワード(p.68)と共用です。

■ 録画完了の通知、リモート録画予約時の画質について設定をする

ツイッター IDごとに、録画完了の通知を受け取る設定や、リモート録画予約で録画するときの画質の設定をおこないます。

1 ツイート投稿画面の「ユーザー設定」をクリック

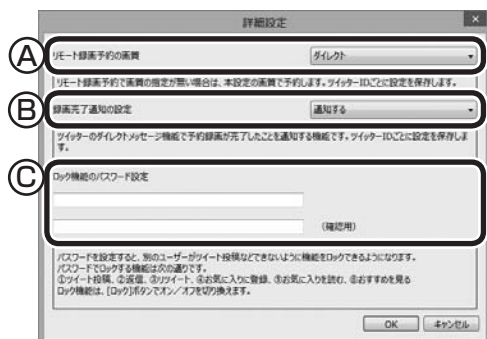
2 設定を変更したいツイッター IDをクリックし、「詳細設定」をクリック



ポイント

すでにパスワードが設定されているときは、パスワードの入力を促すメッセージが表示されます。パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。

3 各項目の設定をおこなう



- ① リモート録画予約で録画するときの画質を設定します。録画予約のツイートまたはダイレクトメッセージで画質が記載されているときは、ツイートまたはダイレクトメッセージに記載の画質が優先となります。
- ② 録画が完了したときに、ダイレクトメッセージで通知するかどうかを設定します。
- ③ 「詳細設定」を保護するためのパスワードを設定できます。設定するパスワードを、パスワード入力欄と確認用のパスワード入力欄に入力してください。
なお、このパスワードはロック用のパスワード(p.67)と共用です。

4 「OK」をクリック

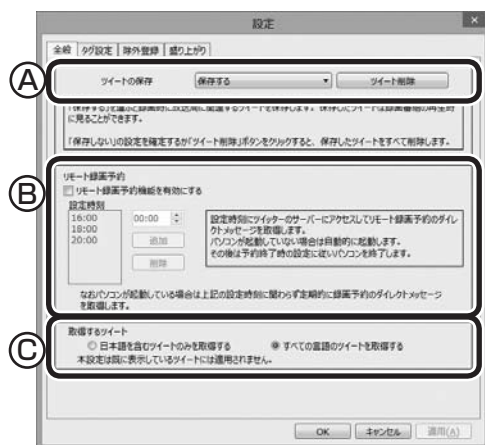
■ 録画時のツイート保存、リモート録画予約、ツイートの表示方法について設定する

次の3つの項目について設定します。

- ・録画するときのツイートを保存するかどうか
- ・リモート録画予約を受け付けるかどうか、および受け付けする時刻
- ・日本語を含むツイートだけ表示するかどうか

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「全般」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう



- ① 録画しているときに、録画しているチャンネルのツイートを保存するかどうかを選択します。保存したツイートは、録画した番組を再生するときに表示することができます。
なお、「ツイート削除」をクリックすると、それまでに保存されていたツイートがすべて削除されます。
- ② リモート録画予約の受け付けをおこなうかどうか設定します。おこなうときはチェックボックスにチェックを入れてください。
また、リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻を追加して設定できます。ご購入時には「16:00」「18:00」「20:00」が設定されています。追加するときは、時刻を入力して「追加」をクリックしてください。
- ③ 日本語を含むツイートだけを表示するかどうか設定できます。日本語以外の言語のツイートを非表示にしたいときなど、必要に応じて設定してください。

3 「OK」をクリック

ポイント

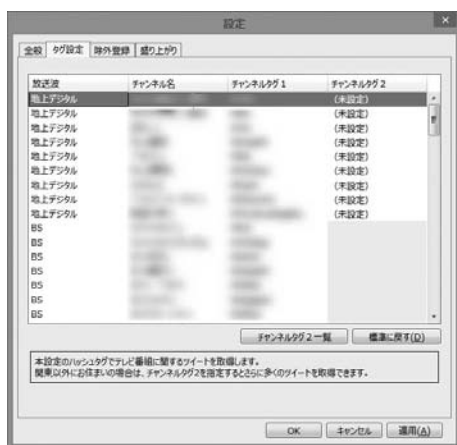
- 録画番組に投稿されたツイートが保存されているときは、録画番組一覧にツイッターアイコンとツイートの件数が表示されます。
- リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻は50件まで設定できます。
- リモート録画予約の受け付けをおこなう時刻を削除するときは、時刻をクリックして選び、「削除」をクリックしてください。
- ハッシュタグの日本語は判断の対象外となります。また、全角のアルファベットや記号は日本語と判断されません。

■ ハッシュタグを設定する(チャンネルタグ1)

チャンネルタグ(チャンネルごとに設定してあるハッシュタグ)の設定や変更をすることができます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「タグ設定」タブをクリック

2 設定するチャンネルのチャンネルタグ1(設定されていない場合は「未設定」)をダブルクリックし、キーボードでハッシュタグを入力する



チャンネル名またはハッシュタグをクリックし、「標準に戻す」をクリックすると、あらかじめ設定されているハッシュタグに戻ります。

3 「OK」をクリック

●チャンネルタグ2を設定する

ローカル局(お住まいの地域の放送局)のハッシュタグが「チャンネルタグ1」に登録されているとき、民放キー局のハッシュタグを「チャンネルタグ2」に設定すると、より多くのツイートを表示することができます。

設定するときは、「(未設定)」をダブルクリックして、▼をクリックし、表示されたメニューからハッシュタグを選んでください。

●チャンネルタグ2を設定するときに表示されるハッシュタグは、「チャンネルタグ2一覧」をクリックして編集することができます。

●ツイートの保存(p.69)で「保存する」が選択されているときは、番組の録画時に「チャンネルタグ2」のツイートも保存されます。

■ 特定のツイッター IDやキーワードを含んだツイートを非表示にする

ツイートを表示させたくないツイッター IDやキーワードを設定できます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「除外登録」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう



- ① ツイートを表示させたくないツイッター IDを入力して「登録」をクリックします。
- ② 登録されたツイッター IDが表示されます。ツイッター IDを削除するときは、削除するツイッター IDを選択して「削除」をクリックします。
- ③ ツイートを表示させたくないキーワードを入力して「登録」をクリックします。
- ④ 登録されたキーワードが表示されます。キーワードを削除するときは、削除するキーワードを選択して「削除」をクリックします。

3 「OK」をクリック

■ 盛り上がり通知を設定する

盛り上がり通知の機能を使うかどうか、また通知する際の基準などについて、設定を変更することができます。

1 ツイート表示画面の「設定」をクリックし、「盛り上がり」タブをクリック

2 各項目の設定をおこなう



- ① 盛り上がり通知の機能を使うかどうか設定します。この機能を使うときはクリックしてチェックマークを付けてください。
- ② SmartVisionがどの状態のときに盛り上がり通知の機能を使うか設定します。ご購入時は、「常に通知する」が選択されています。
- ③ 通知する際の基準となる盛り上がりのレベルを設定します。

3 「OK」をクリック

PART 1

テレビを
もっと
活用する

スマートフォンで操作する

スマートフォンやタブレットでテレビ(SmartVision)を操作するためのスマートデバイスアプリ、「Smartリモコン」についてご紹介します。

「Smartリモコン」について

スマートフォンやタブレット(以降、スマートデバイスと表記します)に、テレビ(SmartVision)を操作するためのスマートデバイスアプリ「Smartリモコン」をインストールして、テレビ用のリモコンとして使用することができます。

リモコン機能だけでなく、スマートデバイスならではの便利な機能も搭載しています。

ここでは、スマートデバイスをSmartVisionのリモコンとして登録する方法について説明しています。また「Smartリモコン」でできることの概要についてご紹介しています。

■ 対応しているスマートデバイスについて

「Smartリモコン」に対応しているスマートデバイスについては、次のURLをご覧ください。

<http://121ware.com/catalog/taioukiki/>

■ 「Smartリモコン」のダウンロードについて

「Smartリモコン」はお手持ちのスマートデバイスによって入手方法が異なります。入手方法について詳しくは、次のQRコードのページをご覧ください。



こちらのURLからもご覧いただけます。

<http://121ware.com/support/smartvision-rc/>

■ スマートデバイスとパソコンの接続について

「Smartリモコン」を搭載したスマートデバイスはパソコンと同じホームネットワークに接続する必要があります。

スマートデバイスをホームネットワークに接続する方法については、スマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

！チェック

「Smartリモコン」では、ぱっと観テレビを操作することはできません。(ぱっと観テレビモデルのみ)

「Smartリモコン」でできること

ここでは「Smartリモコン」でできることの概要についてご紹介します。具体的な操作の方法については、「Smartリモコン」のヘルプをご覧ください。

■ リモコンとして使う

「Smartリモコン」を起動して「リモコン」をタップすると、画面に添付のリモコンと同様のボタンが表示されます。(リモコンモード) 左右のフリックで3つの画面を切り換えます。添付のリモコンとほぼ同様の操作ができます。

■ 録画番組を楽しむときは

「Smartリモコン」を起動して「見る」をタップすると、画面に録画フォルダーの一覧が表示されます。(見るモード)
画面に表示された項目をタップして、録画されている番組を確認することができます。録画番組を選んでSmartVisionで再生することもできます。

■ 未視聴番組数を確認する(iOS版のみ)

スマートデバイスのホーム画面では、「Smartリモコン」アイコンの右上に視聴していない録画番組の数が表示されます。
未視聴番組数を表示するかどうかは、スマートデバイスの設定(通知に関する設定)画面の「Appアイコンバッチ表示」で変更することができます。

■ ツイートを楽しむ

「Smartリモコン」を起動して「つぶやき」をタップすると、SmartVisionのつぶやきプラスと同様に、つぶやきメーターで話題の番組をチェックしたり、視聴中の番組に関連したツイートを読むことができます。

■ 録画予約をする

「Smartリモコン」を起動して「予約」をタップすると、つぶやきプラスのリモート録画予約(p.65)をより簡単な操作でおこなうことができます。

「Smartリモコン」を使用するときの注意

「Smartリモコン」のリモコンモードの動作は、添付のリモコンと一部異なります。

また、操作の前にパソコンにサインインしてください。

サインアウトしているときにSmartリモコンの操作をおこなうと、スマートデバイスの画面に「通信に失敗しました」といったメッセージが表示されることがあります。なお、このメッセージが表示された場合でも、その後の動作には問題ありません。

ポイント

「Smartリモコン」のヘルプは、「Smartリモコン」を起動して「設定」をタップし、「ヘルプ」をタップすると表示されます。

ポイント

ツイートを楽しんだりリモート録画機能を使うときは、ツイッターサービスに対して「Smartリモコン」の連携の認証をおこなう必要があります。

リモコンとして登録する

「Smartリモコン」をインストールしたスマートデバイスを、パソコンのテレビのリモコンとして登録します。

スマートデバイスの操作について

スマートデバイスは、指先で画面(タッチスクリーン)に触れることでさまざまな操作をおこないます。

このマニュアルで使用する操作は次の2つです。

タップ: 画面を指で1回だけ軽く叩く(触れる)操作です。

フリック: 画面を指で軽く払う(触れてからスライドさせる)操作です。

ポイント

操作の前にスマートデバイスに「Smartリモコン」をインストールしておいてください。

1 パソコンを起動する

2 スマートデバイスのホーム画面で、「Smartリモコン」アイコンをタップ

「Smartリモコン」が起動し、画面にSmartVisionを搭載したパソコンの名前(コンピューター名)が表示されます。パソコンの名前の右側に「未認証」と表示されていることを確認してください。

3 SmartVisionを搭載したパソコンの名前をタップ

SmartVisionの録画フォルダーの一覧が表示されます。これで登録は完了です。

■ Smartリモコンがパソコンと接続していることを確認するには

Smartリモコンの画面下にある「設定」アイコンをタップし、「機器選択」画面で操作したいパソコンを選択して「更新」をタップしてください。

更新された「機器選択」画面で、パソコンの名前の右側にある「認証済」の文字に緑色のチェックマークが付いていれば、そのパソコンと接続されています。

「認証済」の文字がグレーの場合は接続ができていません。

パソコンとスマートデバイスがホームネットワークに接続されていること、およびパソコンが起動していることをご確認ください。

■ 「操作したいパソコンを選択してください。」の画面にパソコンが表示されていないときは

SmartVisionを搭載したパソコンの名前(コンピューター名)が表示されないときは、まず次の点について確認してください。

- ・ パソコンが起動している
- ・ スマートデバイスがパソコンと同じホームネットワークに接続されている

続けて、Smartリモコンの画面右下にある「設定」をタップし、「機器選択」画面の左下の「更新」をタップしてください。

更新された「機器選択」画面で、パソコンの名前が表示されることを確認してください。

上記の操作をおこなってもパソコンの名前が表示されないときは、「Smartリモコン用ネットワークアダプター切替ツールを使う」(p.76)の手順にしたがって、ホームネットワークに接続しているネットワークアダプターを選択してください。

■ リモコンとして登録するスマートデバイスを制限するときは

SmartVisionに「Smartリモコン」用の認証コードを設定しておく、スマートデバイスをリモコンとして登録するときに、その認証コードの入力が必要になります。

1 添付されたリモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「リモコンの設定」を選んで【決定】を押す

「リモコンの設定」画面が表示されます。

3 「Smartリモコンの設定」の「設定」を選んで【決定】を押す

「設定ウィンドウ」の「Smartリモコン」タブが表示されます。

4 キーボードを使って「認証コード(6桁の数字)」に6桁の任意の数字を入力する

5 「OK」をクリック

これで、「Smartリモコン」用の認証コードの設定は完了です。

📌 ポイント

- ご購入時の状態では、認証コードは設定されていません。
- 一般的な使用環境では認証コードを設定する必要はありません。不特定多数のかたがテレビとして使用するパソコンなど、スマートデバイスをリモコンとして登録することを制限したいとき、必要に応じて設定してください。

Smartリモコン用ネットワークアダプター切替ツールを使う

スマートデバイスがこのパソコンを認識しないときは、「Smartリモコン用ネットワークアダプター切替ツール」で、ホームネットワークに接続しているネットワークアダプターを選択してください。

■ 使用するネットワークアダプターのデバイス名を確認する

1 スタート画面で「デスクトップ」をクリックし、チャームバーの「設定」-「コントロール パネル」をクリック

「コントロール パネル」が表示されます。

2 「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」-「アダプターの設定の変更」をクリック

ネットワークアダプターの一覧が表示されます。

3 インターネットに接続しているネットワークアダプターのデバイス名を確認する

- ・有線で接続する場合
「イーサネット」に表示されているデバイス名を確認してください。
- ・ワイヤレスLANで接続する場合
「Wi-Fi」に表示されているデバイス名を確認してください。

■ ネットワークアダプターを切り換える

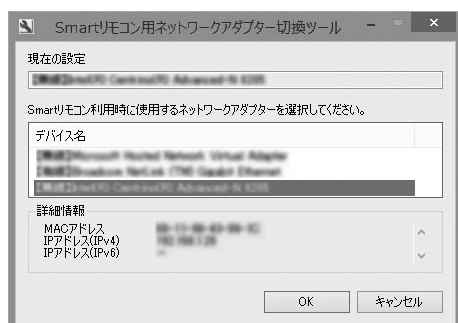
1 スタート画面の左下にあるをクリック

アプリ画面が表示されます。

2 「SmartVision」の「Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツール」をクリック

「Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツール」が起動します。

3 一覧から使用するネットワークアダプターを選んでクリックし、「OK」をクリック



選択したネットワークアダプターが優先的に選択されるよう設定されました。

ポイント

「SmartVisionが起動しているため、Smartリモコン用ネットワークアダプター切換ツールの起動を中止します。」と表示されたときは、「OK」をクリックして、SmartVisionを終了してからあらためて操作してください。

ポイント

- 十分な通信速度で安定した通信をおこなうには、有線接続のネットワークアダプターを選ぶことをおすすめします。
- 表示されるネットワークアダプターは、モデルによって異なります。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

G-GUIDE for Windowsで 予約する

SmartVisionの番組表のほかに、「G-GUIDE for Windows」というアプリを使って録画予約をすることもできます。

もうひとつの番組表「Gガイド」

G-GUIDE for Windowsを使うと、インターネットからデジタル放送の番組表をダウンロードして利用できます。通常の、放送波から番組表を取得する方法に比べて、短時間で番組表を取得できるため、すぐに番組表を更新したいときに向いています。

また、G-GUIDE for Windowsの番組表からSmartVisionの録画予約ができます。

■ G-GUIDE for Windowsでできること

G-GUIDE for Windowsでは、次の操作ができます。

- ・ 番組表を、好きなときにインターネットからダウンロードできる
- ・ SmartVisionの録画予約ができる
- ・ パナソニック株式会社製のBDレコーダー、DVDレコーダー「ディーガ」と連携して、録画予約ができる

このほかにも番組を検索するなどの機能があります。

G-GUIDE for Windowsの詳しい使い方については、スタート画面の左下にあるをクリックし、アプリ画面の「G-GUIDE(R) for Windows」の「取扱説明書 - G-GUIDE(R) for Windows」をクリックしてください。

！チェック

SmartVisionの初期設定が完了していない場合は、G-GUIDE for Windowsで番組表を見ることはできませんが、SmartVisionの録画予約をすることはできません。

👉ポイント

連携できる「ディーガ」については、次のホームページで確認できます。

(<http://panasonic.jp/support/software/>)

G-GUIDE for Windowsの初期設定をする

G-GUIDE for Windowsはマウスとキーボードで操作します。リモコンでの操作はできません。

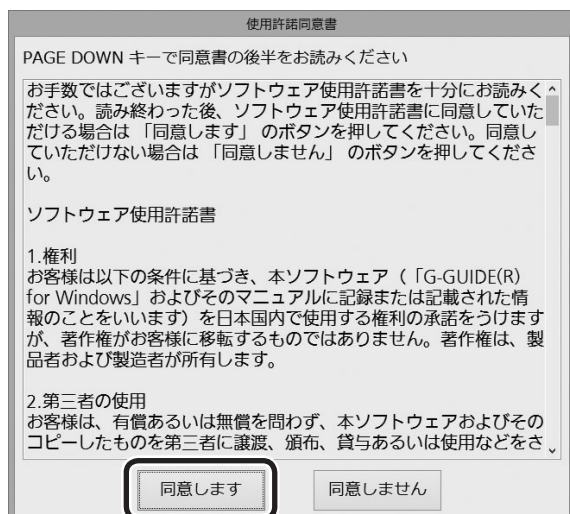
1 スタート画面の左下にあるをクリック

アプリ画面が表示されます。

2 「G-GUIDE(R) for Windows」の「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

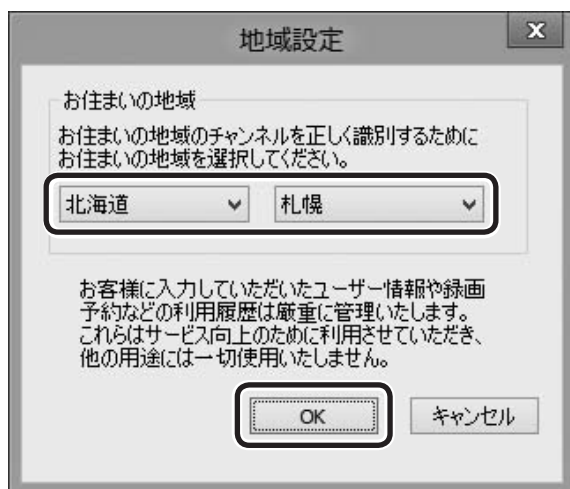
G-GUIDE for Windowsが起動し、「使用許諾同意書」画面が表示されます。

3 「使用許諾同意書」の内容を読み、「同意します」をクリック



「地域設定」画面が表示されます。

4 お住まいの地域を選んで、「OK」をクリック



番組表データのダウンロード確認画面が表示されます。

5 「はい」をクリック



番組表データがダウンロードされます。ダウンロードが終わると、番組表が表示されます。



これで初期設定は完了です。G-GUIDE for Windowsを終了するときは、画面右下の「終了」をクリックしてください。

G-GUIDE for Windowsで予約する

G-GUIDE for Windowsで録画予約をする場合、SmartVisionを起動する必要はありません。

1 スタート画面の左下にあるをクリック

アプリ画面が表示されます。

2 「G-GUIDE(R) for Windows」の「G-GUIDE(R) for Windows」をクリック

G-GUIDE for Windowsが起動し、番組表が表示されます。

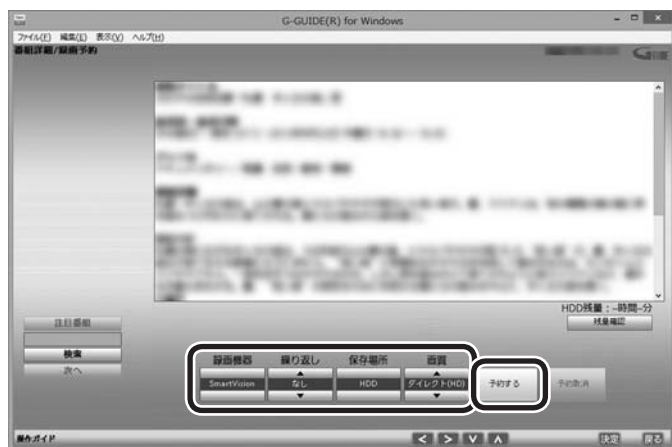
3 録画予約をする番組を選ぶ

- ① クリックして予約する日付を選ぶ
- ② 予約する番組をクリック
- ③ 「詳細/予約」をクリック



「番組詳細/録画予約」画面が表示されます。

4 録画する内容を確認し、「予約する」をクリック



番組表に戻ります。

これで、録画予約は完了です。

ポイント

G-GUIDE for Windowsの画面下側にある「最新データ取得」をクリックして、番組表をダウンロードすることができます。

ポイント

予約したい番組をダブルクリックしても「番組詳細/録画予約」画面を表示できます。

チェック

G-GUIDE for Windowsでは、視聴予約をすることはできません。

チェック

- 「繰り返し」の設定内容はG-GUIDE for WindowsとSmartVisionで異なります。
- 録画と同時に携帯電話用のデータを作成する「外でもVIDEO」の機能を使うときは、SmartVisionで録画予約してください(p.19)。G-GUIDE for Windowsで録画予約するときは、「外でもVIDEO」の機能が使えません。

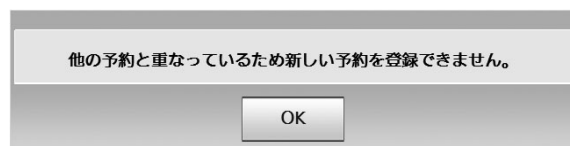
ポイント

録画予約がされている番組は、番組名の前にが表示されます。

■ 予約が重複していたときは

地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデル

録画予約がレコーダーの上限(通常は4番組)まで入っていたときは、次のようなメッセージが表示されます。



必要に応じて、SmartVisionまたはG-GUIDE for Windowsで予約の取り消しなどをおこなってください。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよび地デジ/BS/110度CS・シングルチューナーモデル

すでに入っている予約を削除するかどうか確認する画面が表示されます。画面の説明を読んで操作してください。

PART 1

テレビを
もっと
活用する

その他の機能

その他の一步すすんだ機能について紹介します。

通知領域のアイコンについて

デスクトップの通知領域に、次のようなテレビ機能(SmartVision)のアイコンを表示させることができます。

通常時のアイコン: 

予約した録画や視聴の開始時刻が近づくと、アイコンが変化して録画や視聴が始まることを知らせます。また、録画中や録画モード変換中、光ディスクへの書き込み中、アップデートプログラムやデジタル放送関連データのダウンロード中などもアイコンが変化します。

予約開始5分前 :  ↔  (交互に表示)

予約開始1分前 :  ↔  (交互に表示)

録画中 :  ↔  (交互に表示)

録画モード変換中 :  ↔ 

光ディスクへの
書き込み中 :  ↔ 

SDカードへの
転送中 :  ↔ 

ホームネット
ダビング中 :  ↔ 

ダウンロード中 :  ↔ 

番組表データ
受信中 :  ↔ 

このアイコンをダブルクリックしてテレビを起動することもできます。また、右クリックして、録画の予約をキャンセルするなど、さまざまな操作をすることもできます。

詳しくは、オンラインヘルプの「画面モードと各タブ」-「通知領域のアイコン」をご覧ください。

ポイント

- 通知領域にアイコンを表示させる操作については、『テレビを楽しむ本 基本編』PART1の「テレビを見る前に」の「テレビ(SmartVision)のアイコンを通知領域に表示させる」をご覧ください。
- 「番組表データ受信中」のアイコンは、番組表の受信が終了した後も、データの処理が完了するまで点滅することがあります。

SmartVisionでテレビを見ているときにリモコンの【サブメニュー】を押し、「映像／音声／字幕設定」を選んで表示される画面で設定できます。



録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3

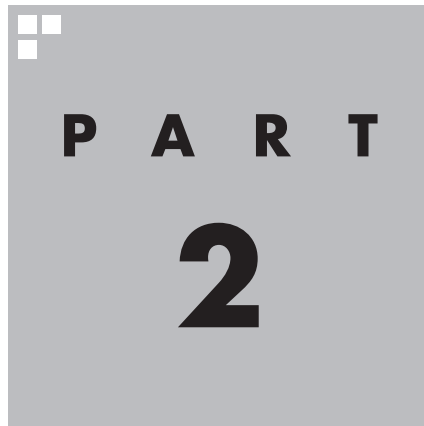
4

5

これで、番組情報が変更されます。



操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。
「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。



付 録

番組表やリモコンなどの設定、SmartVisionに保存された個人情報の消去方法、各モードのボタンやタブの機能などについて説明しています。

PART 2

付録

設定

テレビメニューの設定の各内容を説明します。

番組表の設定

テレビメニューの「設定 」-「番組表の設定」では、番組表に関連する設定をおこなうことができます。

■ 番組表受信時刻の設定

番組表が自動的に受信される時刻を設定します。操作については『テレビを楽しむ本 基本編』PART3の「番組表の受信時刻を変更する」をご覧ください。

■ 番組表の表示設定

番組表に表示されるチャンネルの数を設定します。9チャンネル、7チャンネル、5チャンネルのいずれかを選ぶことができます。

■ マイ番組表の表示設定

マイ番組表を作成したり、マイ番組表に表示されるチャンネルの数を設定できます。操作については『テレビを楽しむ本 基本編』PART3の「マイ番組表を作る」をご覧ください。

なお、「番組表の設定」画面に表示される、「予約実行時の電源設定」と「自動サインインの設定」の機能や設定方法については、次の「予約録画の設定」をご覧ください。

予約録画の設定

テレビメニューの「設定 」-「予約録画の設定」では、予約動作(予約録画、予約視聴、番組表の自動受信)をおこなうときのパソコンの動作について設定をおこなうことができます。

■ 予約実行時の電源設定

予約動作がはじまるとき、シャットダウン(電源オフ)していたパソコンを起動するかどうかの設定や、これらの動作が終了したときのパソコンがどのような状態になるかを設定できます。操作については『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「予約実行前後の動作を設定する」をご覧ください。

■ 自動サインインの設定

SmartVisionは、予約された動作をおこなうため、パソコンに自動サインインする機能を備えています。自動サインインするためには、サインインするユーザー名(アカウント)とWindowsのパスワード(設定されている場合のみ)が正しく設定されている必要があります。サインインするユーザー名を変更したとき(ローカルアカウントからMicrosoft アカウントへ変更した場合を含む)や、新たにWindowsのパスワードを設定または変更したときは、この設定をおこなってください。

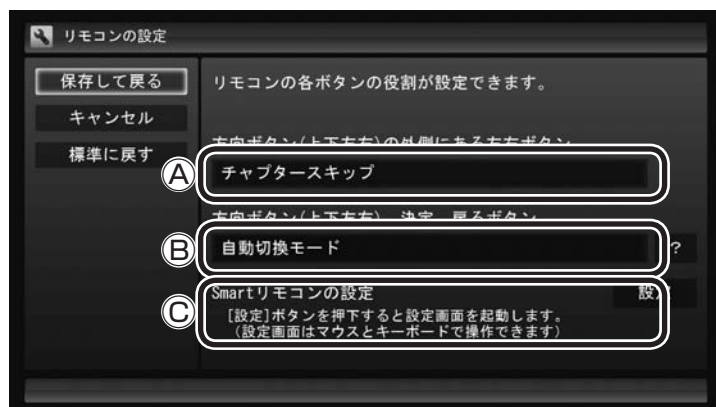
操作についてはこのPARTの「自動サインインの設定をする」(p.98)をご覧ください。

ポイント

Windowsのパスワードとここで設定したパスワードが異なると、自動サインインできず、予約動作が失敗します。

リモコンの設定

テレビメニューの「設定」-「リモコンの設定」では、録画番組の再生やタイムシフトモードでのスキップの動作について設定したり、リモコンをデータ放送用のモードに切り換える設定などができます。



① スキップの動作の設定(外側の左右ボタン)

ここを選んで【決定】を押し、割り当てる機能を選んでもう一度【決定】を押します。

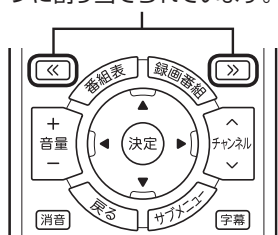
- ・チャプタースキップ
チャプターをスキップします。
詳しくは『テレビを楽しむ本 基本編』PART5の「オートチャプター機能(「チャプタースキップ」と「見たいところ再生」)」の「チャプタースキップ」をご覧ください。
- ・30秒スキップ
30秒間ずつ、前と後にスキップします。

② リモコンのモード切り換え(上下左右/決定/戻るボタン)

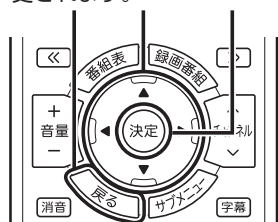
ここを選んで【決定】を押し、次のどちらかのモードを選んでもう一度【決定】を押します。

- ・自動切替モード
通常はこちらのモードでご利用ください。
- ・データ放送固定モード
データ放送を視聴しているとき、上下左右/決定/戻るボタンが使えない場合はこちらを選んでください。データ放送の視聴が終わったら自動切替モードへ戻してください。

スキップの機能はこのボタンに割り当てられています。



これらのボタンの機能がデータ放送固定モードに変更されます。



◎Smartリモコンの設定

SmartリモコンについてはPART1の「スマートフォンで操作する」(p.73)をご覧ください。

Smartリモコンの設定についてはPART1の「リモコンとして登録するスマートデバイスを制限するときは」(p.76)をご覧ください。

外でもVIDEO(簡単転送)の設定

テレビメニューの「設定」-「外でもVIDEO(簡単転送)の設定」では、外でもVIDEOの自動転送の設定や、自動転送および簡単転送の転送先の機器が登録できます。

自動転送についてはPART1の「自動転送を使う」(p.25)を、簡単転送についてはPART1の「簡単転送を使う」(p.29)をご覧ください。

パレンタル設定

年齢による視聴制限を設定できます(パレンタル設定)。設定した年齢未満の視聴者を対象としていないテレビ番組は、SmartVisionで視聴できなくなります。

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「パレンタル設定」を選んで[決定]を押す

「パレンタル設定」画面が表示されます。

年齢制限が設定されていないときは：

「暗証番号」に「(未設定)」と表示されています。手順3に進んで、まず暗証番号を設定してください。

すでに年齢制限が設定されているときは：

「暗証番号」に「****」と表示されています。手順8に進んでください。

3 「暗証番号」を選んで[決定]を押す

暗証番号の設定画面が表示されます。

4 キーボードで4桁の暗証番号を入力する

5 「確認用」の入力欄を選んで[決定]を押し、同じ暗証番号をもう一度入力する

6 「設定」を選んで[決定]を押す

「暗証番号を設定しました。」と表示されます。

7 「閉じる」を選んで[決定]を押す

8 「視聴最小年齢」を選んで[決定]を押す

暗証番号を入力する画面が表示されます。

9 キーボードで4桁の暗証番号を入力する

ポイント

ぱっと観テレビモデルで、『テレビを楽しむ本 基本編』PART2の「その他の設定について」の「ぱっと観テレビを視聴するときの年齢制限を設定する」の設定をしているときは、ここでの設定(SmartVisionの設定)は不要です。ぱっと観テレビもしくはSmartVisionのどちらかで年齢制限の設定をおこなえば、どちらのテレビにもその結果が反映されます。

ポイント

暗証番号を変更するときは、「パレンタル設定」画面で「暗証番号」を選んで[決定]を押し、現在の暗証番号を入力してから、「変更」を選んで[決定]を押ししてください。続いて手順4～7の操作で暗証番号を設定しなおしてください。

10 「設定」を選んで【決定】を押す

「視聴最小年齢」のメニューが表示されます。

11 設定する「視聴最小年齢」を選んで【決定】を押す

12 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

これで年齢による視聴制限の設定(パレンタル設定)は完了です。

ポイント

年齢による視聴制限を解除するときは暗証番号を削除してください。「パレンタル設定」画面で「暗証番号」を選んで【決定】を押し、現在の暗証番号を入力して「削除」を選んで【決定】を押してください。削除済みのメッセージが表示されたら「閉じる」を選んで【決定】を押してください。

データ放送の設定

テレビメニューの「設定 」-「データ放送の設定」では、データ放送で表示される地域情報の地域を変更することができます。データ放送で表示される天気予報など、お住まいの地域に関する情報は、SmartVisionに登録された郵便番号を元にして表示しています。「データ放送の設定画面」の「郵便番号の設定」に、情報を表示させたい地域の郵便番号を入力してください。

テレビ優先モードの設定

テレビメニューの「設定 」-「テレビ優先モードの設定」では、パソコンが省電力状態(スリープや休止状態)のとき、SmartVisionが起動する時間を短くするよう設定できます。テレビ優先モードの設定を「有効」にしてください。なお、この状態ではSmartVisionを起動していなくても一定のメモリ量を使用します。

ポイント

ご購入時はこの設定が「有効」になっています。

初期設定のやりなおし

引っ越ししたときやテレビ放送の周波数が変更されたときは、初期設定をやりなおしてください。

テレビメニューの「設定 」-「初期設定のやりなおし」では、SmartVisionの初期設定(テレビの初期設定)をやりなおすことができます。画面の指示にしたがって操作してください。

詳しい操作については、次の説明も合わせてご覧ください。

ぱっと観テレビモデル:

『テレビを楽しむ本 基本編』PART1の「テレビ初期設定をする」の「ぱっと観テレビモデルのテレビ初期設定」

ぱっと観テレビモデル以外:

『テレビを楽しむ本 基本編』PART1の「テレビ初期設定をする」の「ぱっと観テレビモデル以外のモデルのテレビ初期設定」

■ おまかせタフ録りのジャンルやキーワードの設定をやりなおす(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

「初期設定のやりなおし」の操作では、おまかせタフ録りの「ジャンル」や「キーワード」の設定をやりなおすことができません。これらの設定をやりなおすときは、『テレビを楽しむ本 基本編』PART4の「おまかせタフ録り(ジャンル)の設定を変更する」や「おまかせタフ録り(キーワード)の設定を変更する」をご覧ください。

ポイント

ぱっと観テレビモデルの場合、「初期設定のやりなおし」ではチャンネルスキャンがおこなわれません。チャンネルスキャンの操作については、『テレビを楽しむ本 基本編』PART2の「その他の設定について」の「ぱっと観テレビのチャンネルスキャンをやりなおす」をご覧ください。

PART 2

付録

ダビング10とは

ここでは、デジタル放送の録画ルール「ダビング10」について説明しています。

コピー制御方式について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング10」または「コピーワンス」と呼ばれるコピー制御が加えられています。

このパソコンはダビング10に対応しており、ハードディスクに録画したデジタル放送のダビング10番組が、CPRM対応のDVDなどの光ディスクに10回まで保存(9回まではコピー、最後の1回はムーブ(移動))できます。

また、録画されたコピーワンス(コピー不可)の番組は、光ディスクに1回だけ保存(ムーブ(移動))できます。

ムーブ(移動)した場合、ハードディスクから当該番組は自動的に削除されます。

なお、保存したDVDなどの光ディスクから再度コピーを作成する(孫コピーを作成する)ことはできません。

次の点にご注意ください。

- どの番組がダビング10で放送されるかは、番組によって異なります。
- EPG(電子番組表)の情報では、コピーワンス／ダビング10のどちらのコピー制御方式による番組が区別できません。番組表には、どちらの番組の場合でも「コピー制限あり」と表示されます。
番組をハードディスクに録画すると、録画番組一覧の画面で、どちらのコピー制御方式による番組が確認できます。

！チェック

携帯電話(SDカード)に携帯電話用のデータを転送したときや、ホームネットワークを経由してメディアサーバーに転送したときも、コピーできる残りの回数が減ります。

ダビング10とコピーワンスの違い

「ダビング10」と「コピーワンス」の違いは、次のようになります。

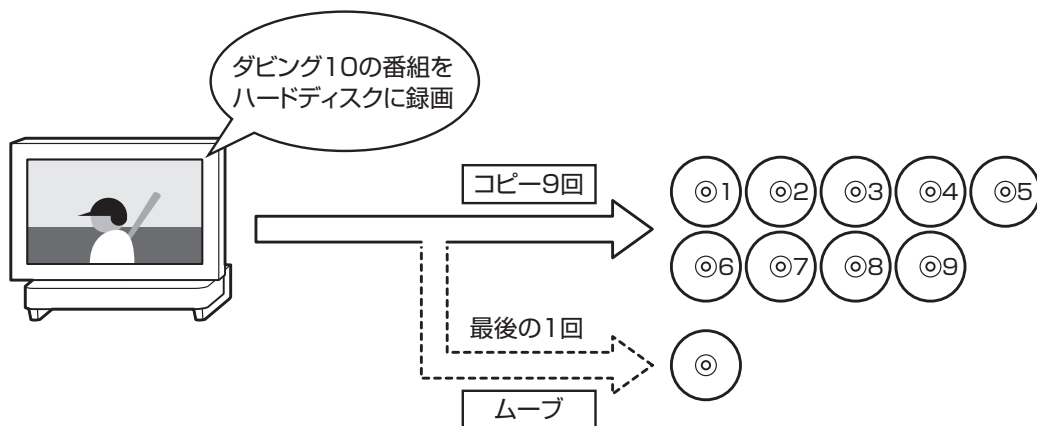
コピー制御方式	コピー回数	光ディスクへの保存/ 携帯電話(SDカード)への転送/ メディアサーバーへの転送
ダビング10	コピー可(回数制限)	コピー 9回、ムーブ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)
コピーワンス	コピー不可 (光ディスクへのムーブは1回のみ可能)	ムーブのみ1回可 (ムーブ後、ハードディスクからは削除されます)

ダビング10でできること

●ダビング10

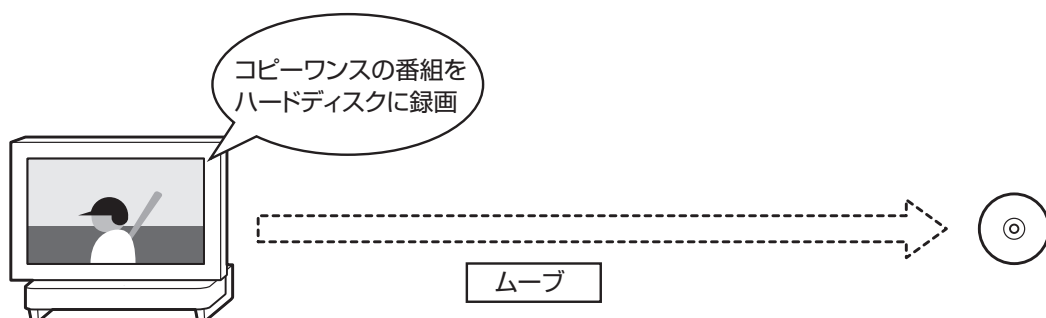
パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに最大9回コピーすることができます。コピーするたびにコピーできる残りの回数は減っていきます。

コピーできる残り回数が0になると光ディスクへの保存はムーブ(移動)になり、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。



●コピーワンス

パソコンのハードディスクに録画した番組を、光ディスクに保存するとムーブ(移動)され、パソコンのハードディスクから録画データは削除されます。



録画モードを変換した番組と簡易編集した番組のダビング10についての注意

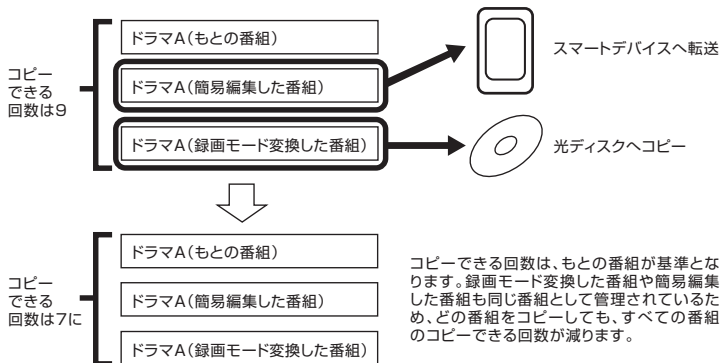
「録画モード変換」と「簡易編集」をおこなった番組のコピーできる回数について説明します。

録画モード変換したり簡易編集した番組は、もとの番組の下に並んで「録画番組一覧」画面に表示されます。

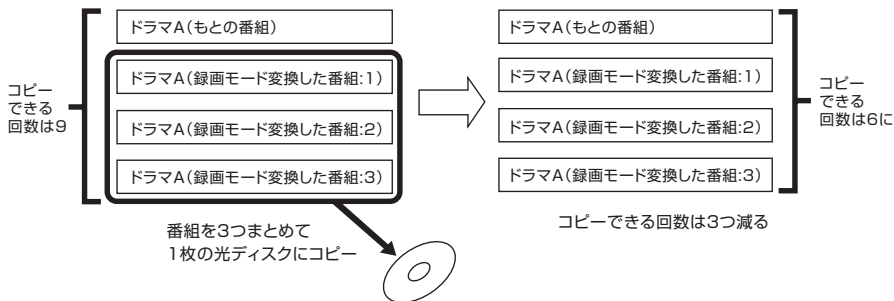


番組情報欄に番組のコピー制御方式がアイコン表示され、その右側にコピーできる回数の残りが表示されます。

録画モード変換したり簡易編集した番組を、光ディスクに保存したり、ほかの機器にダビング(転送)すると、もとの番組のコピーできる回数も同時に1つ減ります。



同じ番組から録画モード変換したり簡易編集した番組が複数あるとき、それらをまとめて光ディスクにコピーしたりほかの機器にダビング(転送)すると、その番組の数だけコピーできる回数が減ります。



ポイント

- もとの番組と「まとめ表示」されていることがあります。その場合は【サブメニュー】を押して表示されるメニューで、「個別表示にする」を選んで【決定】を押し、「個別表示」に切り換えてください。
- 簡易編集した番組は、編集したことを示すため、タイトルに[編集01] (数字部分は番組を編集した回数)が追加されます。

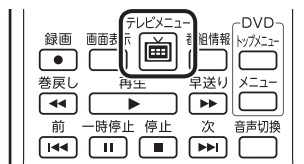
チェック

コピーワンスの番組を録画モード変換したり簡易編集したときは、それで作成された番組を光ディスクに保存したりほかの機器へ転送すると(ムーブすると)、もとの番組も同時に削除されます。

コピーできる回数を確認するには

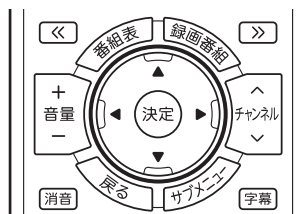
録画した番組のコピー制御(コピーできる回数)を確認する方法を説明します。

1 リモコンの[テレビメニュー]を押す



テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組一覧」から、コピー制御を確認したい番組が録画されているフォルダーを選んで[決定]を押す



録画番組一覧が表示されます。

3 番組を選び、番組情報欄に表示されたアイコンで、コピー制御方式とコピーできる回数を確認する



アイコン		説明
コピー アイコン	 	制限付きでコピーが可能な番組に表示されます。 右側の数字は、光ディスクに保存したり、ほかの機器にダビング(転送)できる回数を表します。番組をコピー(光ディスクへ保存、ほかの機器へ転送)すると、数字が減ります。
ムーブ アイコン		コピーワンスの番組、もしくは、すでに光ディスクに保存するなど9回コピーされた番組に表示されます。 このアイコンが表示された番組は、光ディスクに保存したり、ほかの機器にダビング(転送)するとき、コピーではなくムーブ(移動)となります。ムーブした番組は録画フォルダーから削除されます。
フリー アイコン		コピーフリーの番組に表示されます。 このパソコンで録画した番組を、回数の制限なしで何度でもコピー(光ディスクへ保存、ほかの機器へダビング)できます。
再生不可	—	「再生不可」と表示された番組は再生することができません。また、光ディスクに保存したりほかの機器にダビング(転送)することもできません。 次のような原因で「再生不可」となることがあります。 ・録画した番組のデータが破損している ・ほかのパソコンで録画した番組のデータ(ファイル) ・パソコンの不具合でTV機能に関する部分を交換した (この場合はすべての番組が「再生不可」となります)

PART 2

付録

個人情報を消去する

SmartVisionに登録されている個人的な情報(データ放送用の個人データやテレビの視聴履歴のデータなど)を消去できます。パソコンを廃棄したり、他の人に譲渡するときは、これらのデータを消去してください。

消去できるデータについて

次のデータが消去できます。

データ放送用の個人データなど

- ・ データ放送で使用していた個人情報やポイント
- ・ しおり一覧の内容
- ・ 地上デジタル放送の番組表のデータとチャンネル設定

テレビの視聴履歴のデータなど

- ・ テレビの視聴履歴
- ・ 「おまかせタフ録り」の「おすすめ度」設定用のデータ(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

！チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

■ データ放送用の個人データなどを消去する

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「ノーマル」ボタンをクリック



画面が切り換わり、マウス操作専用モード(ノーマルモード)が表示されます。

3 (設定)をクリック

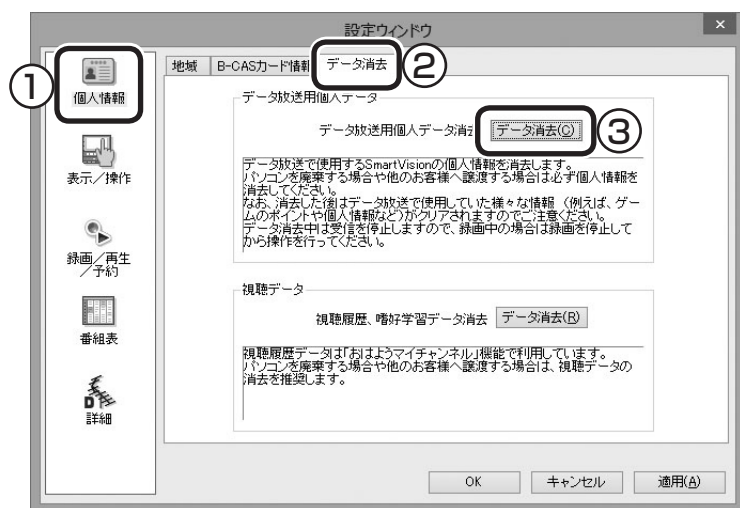
「設定ウィンドウ」が表示されます。

👉ポイント

操作パネルのボタン表示は、モデルや状態によって異なります。「ノーマル」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

4 データ放送用の個人データなどを消去する

- ①「個人情報」アイコンをクリック
- ②「データ消去」タブをクリック
- ③「データ放送用個人データ」の「データ消去」をクリック



「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

5 「はい」をクリック

SmartVisionが終了します。

その後、データ消去ツールが起動し、データの消去がおこなわれます。

！チェック

- データを消去している間は、SmartVisionを使用することができません。
- 再起動をするようにメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- データを消去した後は、ご購入時の状態に戻ります。テレビの視聴をおこなう場合は、もう一度テレビ初期設定をおこなう必要があります。

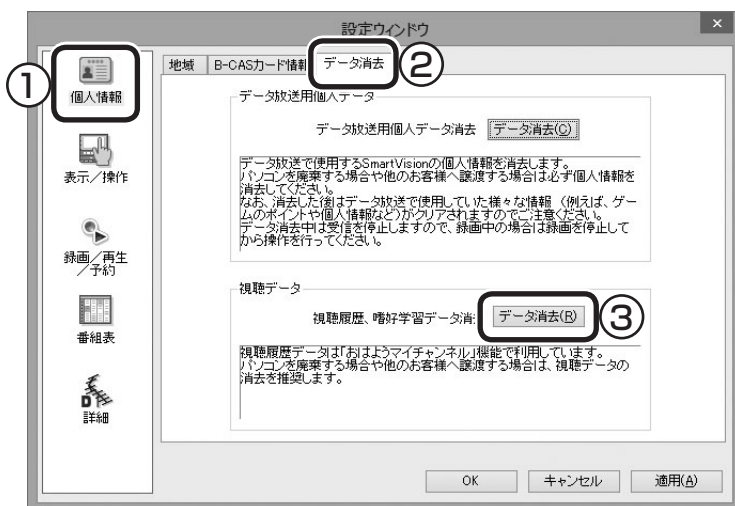
■ テレビの視聴履歴のデータなどを消去する

1 「データ放送用の個人データなどを消去する」(p.95)の手順 1～3をおこなう

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 テレビの視聴履歴のデータなどを消去する

- ①「個人情報」アイコンをクリック
- ②「データ消去」タブをクリック
- ③「視聴データ」の「データ消去」をクリック



「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

3 「はい」をクリック

「視聴データの消去が完了しました。」と表示されます。

4 「閉じる」をクリック

PART 2

付録

自動サインインの設定をする

自動的にサインインするユーザーアカウントに、新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更したとき、サインインするユーザーアカウントを変えたいときは、次の手順で設定してください。

設定を変更する

- 1 リモコンの[テレビメニュー]を押す
テレビメニューが表示されます。
- 2 「設定」から「予約録画の設定」を選んで[決定]を押す
- 3 「自動サインインの設定」を選んで[決定]を押す
- 4 サインインするユーザーアカウントを変更する場合は、「自動サインインユーザー」を選んで[決定]を押し、ユーザーを選ぶ
- 5 新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、「パスワード」を選んで[決定]を押し、キーボードからパスワードを入力する
- 6 「自動サインインのテスト」を選んで[決定]を押す
テスト結果に「このユーザーで自動サインインできます。」と表示されれば、自動サインインの設定が正しくできています。
- 7 「保存して戻る」を選んで[決定]を押す

PART 2

付録

各モードの画面説明

マウス操作専用モードの各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

ソースタブ

表示する映像(放送)を切り換えます。

地デジ:地上デジタル放送
BS:BSデジタル放送
CS:110度CSデジタル放送
録画番組:録画番組一覧

映像表示ウィンドウ

テレビの映像を表示します。

プレイモードタブ

タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン

SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

オンラインヘルプボタン

SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

つぶやきプラスボタン

つぶやきプラスの画面を表示します。

番組表ボタン

番組表を表示します。

録画番組一覧ボタン

録画番組一覧を表示します。

予約&結果一覧ボタン

予約一覧、および結果一覧を表示します。

コントロールパネル

チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー

エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
緑色	タイムシフト中の放送
グレー (クリックできません)	現在、利用できない放送(切り換えられません)

ポイント

- 番組表ボタンや設定ボタンのボタン名が表示されていないときは、SmartVisionの画面をドラッグして広げると、ボタン名が表示されます。
- 映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

SmartVisionの設定について→
オンラインヘルプの「設定」

● コントロールパネル



プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトしている時間を調節できます。

録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。

ライブモード時：何も表示されません。

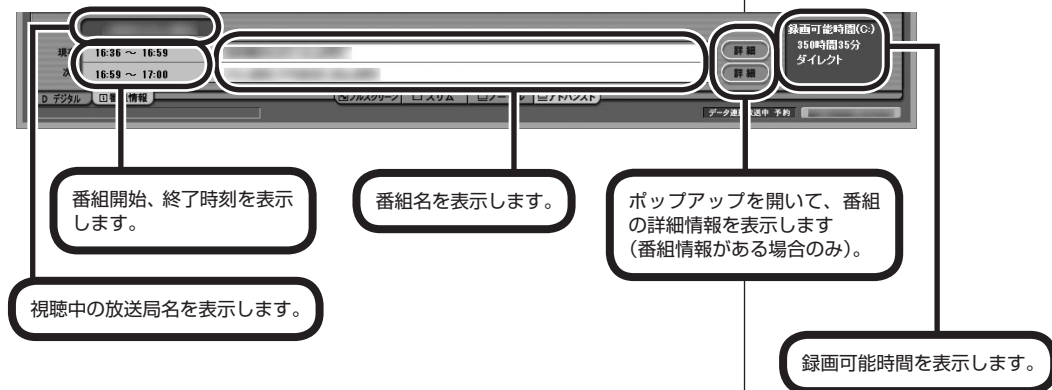
■ アドバンスモード

アドバンスモードには機能の異なる3つの画面があります。左下のタブ(「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「簡易編集」タブ(録画番組再生時))をクリックして切り換えて操作します。

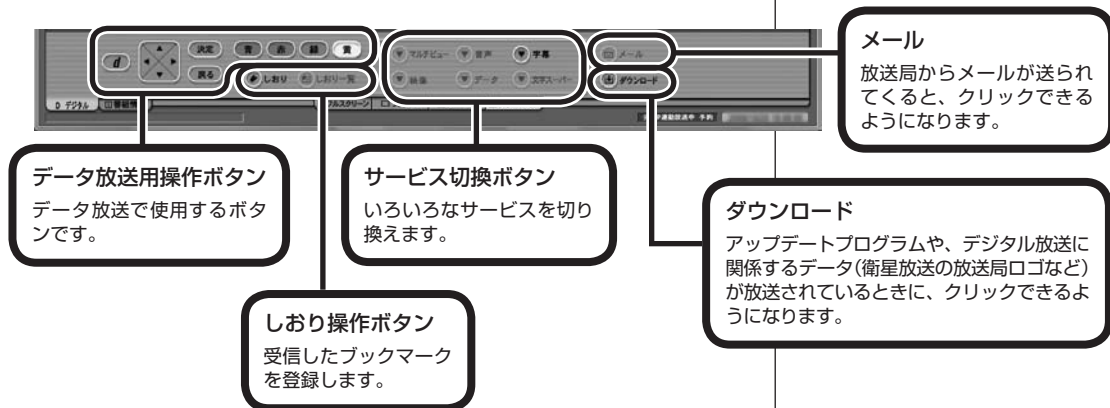


表示されている放送によって操作できるタブが異なります。操作できないタブはクリックできません。

● 「番組情報」タブ

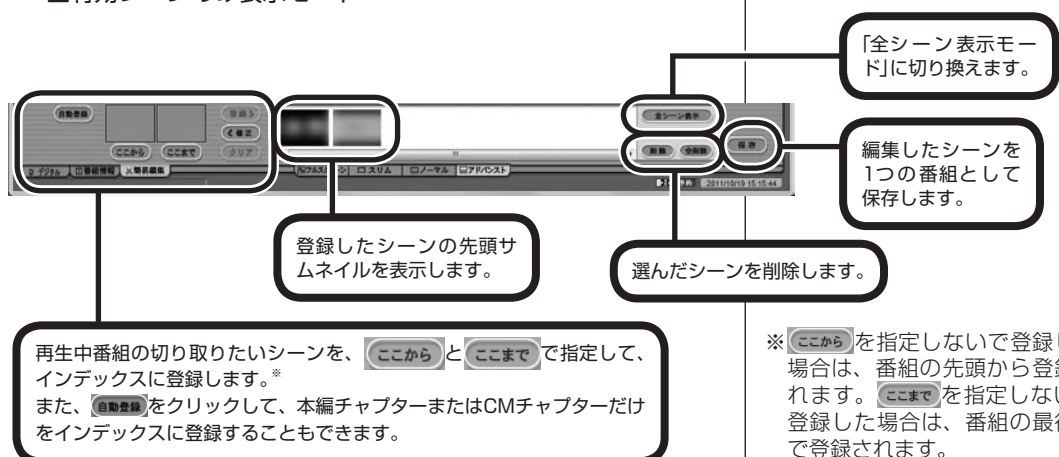


●「デジタル」タブ

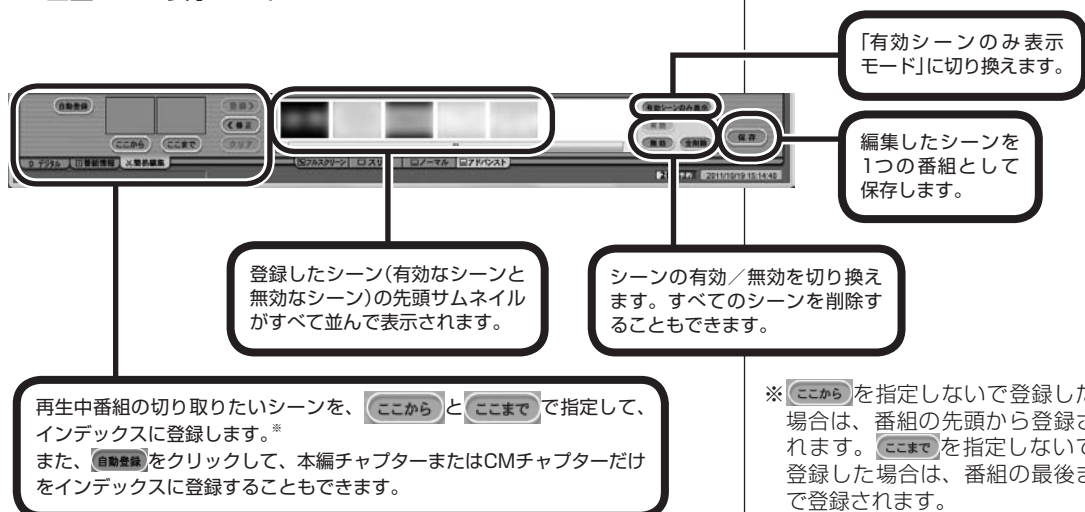


●「簡易編集」タブ

■有効シーンのみ表示モード



■全シーン表示モード



ポイント

メディアサーバーに保存された番組は編集できません。メディアサーバーに保存された番組の一覧を表示しているときは、「簡易編集」タブが表示されません。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンスモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。



ハードディスクの空き容量の制限値を変更する

SmartVisionでは、ハードディスクの空き容量が設定した値を下回ると録画を停止します。空き容量の設定は次の手順で変更できます。

- 1 マウス操作専用モード(ノーマルモードまたはアドバンスモード)で (設定)をクリック
「設定ウィンドウ」が表示されます。
- 2 左側の「録画／再生／予約」をクリックし、「録画／タイムシフト」タブをクリック
- 3 「録画の自動停止」で、録画を自動停止するハードディスクの空き容量(制限値)を設定する
- 4 「OK」をクリック

録画に使えるハードディスクの容量が少なくなったことをお知らせする基準値を変更する(地デジ/BS/110度CS・4チューナーモデルのみ)

録画番組の保存に使えるハードディスクの容量が、あらかじめ設定されている基準値を下回ると、おまかせ録画フォルダーのアイコンに矢印が表示されたり、録画フォルダーのアイコンが赤くなるなど、録画フォルダーのアイコンが変化してお知らせします。この基準値は次の手順で変更できます。

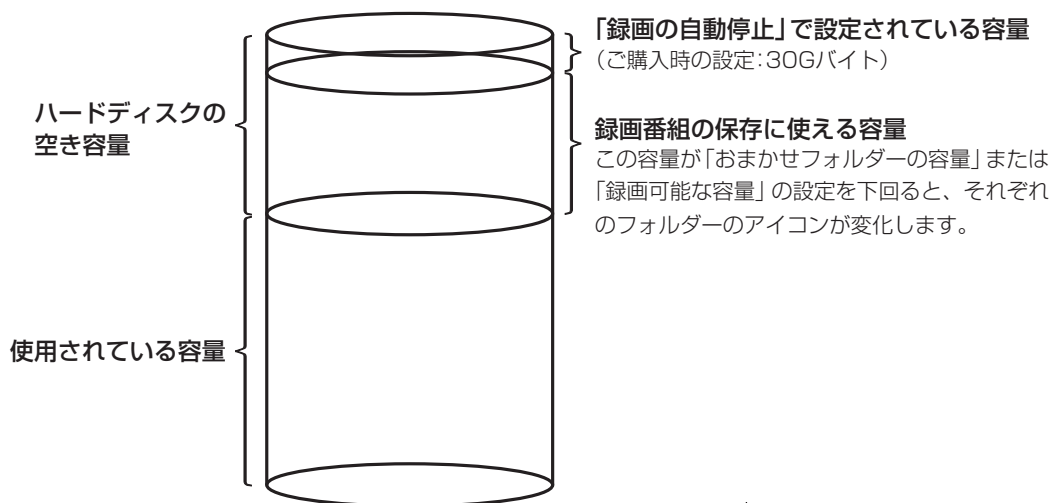
1 マウス操作専用モード(ノーマルモードまたはアドバンスモード)で (設定) をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

2 左側の「録画／再生／予約」をクリックし、「お知らせ」タブをクリック

3 「おまかせフォルダーの容量」または「録画可能な容量」で、アイコンの表示を変える基準値(録画番組の保存に使える容量)を設定する

録画番組を保存するフォルダーがあるハードディスク



4 「OK」をクリック

ポイント

録画フォルダーのアイコンの変化については『テレビを楽しむ本 基本編』PART5の「おまかせタフ録りした番組の自動削除」も合わせてご覧ください。

チェック

- 「録画番組の保存に使える容量」は、ハードディスクの空き容量から「録画の自動停止」(p.103)で設定された分を除いた容量です。
- 録画番組一覧の「残量」には、ハードディスクの空き容量が表示されます。ここで説明している「録画番組の保存に使える容量」ではありません。ご注意ください。

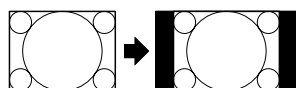
全画面表示のときの画面の表示方法を変える

画面サイズが4:3の比率になっている放送では、画面の表示方法を変更することができます。

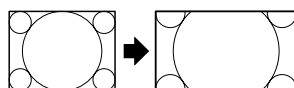
画面の表示方法は、次の3つから選べます。

表示方法	説 明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド(フル)	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。

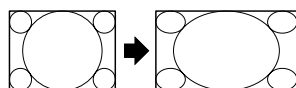
ノーマル



ズーム



ワイド(フル)



【サブメニュー】を押し、「ワイド切換」を選んで、画面の表示方法を選んでください。

チェック

- デジタル放送では、番組の画面サイズが4:3の比率に見えても、実際には16:9の比率で放送されていることがあります。その場合は、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。
- 画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。なお、パソコンの画面の比率が16:9以外(16:10など)のモデルでは、画面の上下に黒い部分が表示されます。
- このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 全画面表示ではないとき(ウィンドウ表示のとき)、サブメニューに「ワイド切換」が表示されません。

BS・110度CSデジタル放送の有料放送の受信契約方法について

このパソコンはモデム機能を搭載していないため、電話回線を利用した有料放送の受信契約をテレビの画面からおこなうことができません。

ここでは、受信契約の申し込みをおこなう場合のお問い合わせ先について記載します。

名称	URL	お問い合わせ先
WOWOW [BS9ch]	http://www.wowow.co.jp	0120-580-807 (PHS、IP電話の方は045-683-8080) 受付時間 9:00～20:00(年中無休)
スター・チャンネル HV [BS10ch]	http://www.star-ch.jp	0570-013-111 (PHS、IP電話のお客様は045-650-4724) 受付時間 10:00～18:00 なお、スター・チャンネル HVの加入申込みは下記のスカパー！へお問い合わせください。
スカパー！	http://www.e2sptv.jp/	0570-039-888 (PHS、IP電話のお客様は03-4334-7777) 受付時間 10:00～20:00(年中無休)

各画面に表示される「録画可能時間」に関するご注意

アドバンスモードの番組情報タブに表示される「録画可能時間」
現在視聴している番組を手動録画する際の「録画可能時間」の目安となります。

- ・録画に使用するハードディスクの空き容量と、現在視聴している番組(放送波ごとにビットレートが異なります)の録画時に必要な容量から算出されます。

録画番組一覧画面に表示される「録画可能時間」

録画予約の際に、ハードディスク全体のおおよその空き容量(残量)とあわせて「録画可能時間」が十分かどうかご判断いただき、必要に応じて不要な録画番組などを削除していただくための目安となります。

- ・録画モードが「ダイレクト」のときは、放送波(地上波/BS/CS)によって実際のビットレートが異なるため、計算上のビットレートを24Mbps均一として算出されたおおよその録画可能時間が表示されます。

ポイント

算出方法が異なるため、画面によって表示される「録画可能時間」が異なる場合があります。

英数字

G-GUIDE for Windows	78
SmartVision/PLAYER	43
Smartリモコン	73

あ行

ウェブ検索	5
-------------	---

か行

画面の表示方法	105
検索番号	ii
個人情報	95

さ行

自動サインイン	98
外付けハードディスク	2
外でもVIDEO	11

た行

ダビング10	90
つぶやきプラス	45

は行

番組表	78
番号検索	ii
フルスクリーンモード	105

テレビを
楽しむ本
活用編

VALUESTAR



初版 2014 年5月

NEC

853-811064-373-A

NECパーソナルコンピュータ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1 (ゲートシティ大崎 ウェストタワー)